

GMAT

Gunma Museum of Art,  
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

群馬県立館林美術館年報 令和5年度

# Annual Report

2023.4-2024.3

# 目次

新型コロナウイルスの美術館への影響——— 3

## 展覧会

- A. 展覧会一覧——— 4
- B. 企画展示記録——— 5
- C. コレクション展示記録——— 43
- D. 彫刻家のアトリエ(別館) 展示記録——— 46
- E. 入館者数一覧——— 48

## 教育普及

- A. 講演会・アーティストトーク・パフォーマンス——— 49
- B. 作品解説会・キッズウォーク・ポンポンツアー——— 51
- C. ワークショップ——— 53
- D. 創作体験コーナー みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」——— 54
- E. たてび☆びじゅつ部——— 55
- F. インスタライブ・鑑賞イベント・コンサート・その他イベント——— 56
- G. 他団体への協力——— 58
- H. 学校連携その他——— 59
- I. 地域に開かれた美術館づくり——— 65
- J. 刊行物——— 66
- K. ボランティア——— 67
- L. 友の会(群馬県立館林美術館友の会)——— 67
- M. その他——— 68

## 所蔵資料

- A. 美術作品——— 69
- B. 図書資料その他——— 78

## 施設利用状況

- A. 施設利用一覧——— 79

職員名簿——— 80

## 新型コロナウイルスの美術館への影響

令和 5 年 5 月 8 日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 5 類感染症になったものの、職員はマスクを継続することとなった。また館内の清掃や消毒液設置も継続した。

4 月 20 日に始まった春の企画展「夢と自然の探求者たち」では、最初のイベントとしてアーティストトークが 5 月 7 日に行われた。トークはコロナ以降初めて展覧会会場でを行い、作家には距離に注意しながらマスクなしで話をして頂いた。その後、作品解説会、ポンポン・ツアーなど、講堂で開催していたイベントはすべて展示室での開催に戻った(学芸員はマスクを着用)。イベントの開催については、前年度中の 3 月 4 日以降、100% 開催が可能となっており、講演会の定員はコロナ前の人数に戻したが、「たてび☆びじゅつ部」のワークショップでは、参加者とサポーターが接する状況に未だ不安感があったため、1 テーブル 4 名、室内は一度に 18 組までの参加制限を設けて開催した。夏の展覧会からはすべてのイベントがコロナ前と同じ開催方法、人数となった。

# 展覧会

## A. 展覧会一覧

### 1. 企画展示

展示名	会期	会場	内容
夢と自然の探求者たち—19世紀幻想版画、シュルレアリスム、現代日本の作家まで	4/22～6/25	展示室2～4	理性の彼方にある人間の無意識や直感と関わる近現代の美術を、当館と群馬県立近代美術館、足利市立美術館の浅川コレクションそして個人コレクションの作品により紹介した。
佐藤健寿展 奇界／世界	7/15～9/18	展示室2～4	これまで世界120カ国以上を巡り、各地のありとあらゆる“奇妙なもの”を対象に、博物学的・美学的視点で撮影を続けてきた写真家・佐藤健寿の個展。『奇界遺産』『世界』、群馬での撮り下ろしなど225点を展示。
堀内誠一 絵の世界	10/4～12/17	展示室2～4	デザイナー、アートディレクター、絵本作家であり、雑誌作りにおけるエディトリアルデザインの先駆者でもあった堀内誠一の回顧展。絵本の原画や下絵、雑誌のエディトリアルデザイン、ポスター、絵地図など140点を紹介。
ヒューマンビーイングー藤野天光、北村西望から三輪途道のさわれる彫刻まで	1/27～4/7	展示室1～4	人物像に焦点を当てた展覧会。なかでは2つの特集展示を行った。一つは館林生まれの藤野天光とその師である北村西望をとりあげ、もう一つは目が見えなくなった彫刻家・三輪途道を紹介し、作品に手で触れて鑑賞できるコーナーを設けた。

### 2. コレクション展示

展示名	会期	会場	内容
近現代の彫刻 I	4/22～6/25	展示室1	ポンポン、ミロ、和南城孝志、森亮太、黒川弘毅作品など近現代の彫刻を展示了。
近現代の彫刻 II	10/4～12/17	展示室1	ポンポン、オルロフ、ムーア、土谷武など近現代の彫刻を展示了。

## B. 企画展示記録

### 1. 夢と自然の探求者たち—19世紀幻想版画、シュルレアリスム、現代日本の作家まで

会期 令和5年4月22日（土）～6月25日（日）  
会場 展示室2～4  
主催 群馬県立館林美術館  
観覧料 一般 620（490）円 大高生 310（240）円  
( ) 内は、20名以上の団体割引料金

夢や幻想、あるいは大いなる自然や野性の力は、古来より美術の表現を導いてきた。本展では、理性の彼方にある人間の無意識や直感と関わる近現代の美術を、当館と群馬県立近代美術館、足利市立美術館の浅川コレクションそして個人コレクションの作品により紹介したものである。

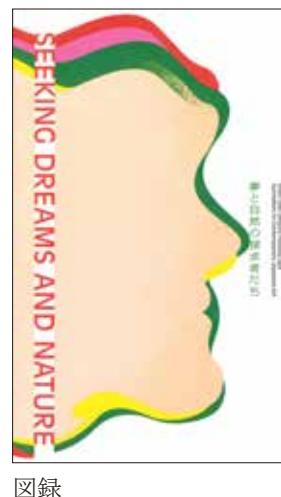
19世紀末の西欧では、近代化の陰で、自然と人間の生死を見つめ、ひそやかに描かれた絵、語られた詩や物語があった。20世紀になると、第一次世界大戦の惨禍から合理主義は疑われ、人間の純粋なる精神活動、内的なイメージを探求するシュルレアリスムが興隆する。本展前半では、グランヴィル、ルドンからベルメール、ゾンネンシュターン、マッタやアペルまで、幻想的な版画や潜在意識に導かれた色彩豊かな絵画を紹介した。

日本では、群馬出身の福沢一郎が滯仏中にシュルレアリスム絵画をいち早く実践した。その後、本来のシュルレアリスムから跳躍し、あるいは無意識に、人間の内面と自然を重ね、造形のエネルギーとした作家たちは枚挙にいとまがない。本展後半では、自然の力を多彩な創作に取り込んだ勅使河原蒼風をはじめ、様々な近現代の作家たちを紹介した。さらに、群馬県北西部の六合（ぐに）の山で制作を行ったスタン・アンダーソン、廃材を用いたブリコラージュにより人間像を制作する館林在住の亀山知英ら、地域の作家にも光を当てた。

会期中は、福沢一郎記念館学芸員の伊藤佳之氏による講演会、出品作家の亀山知英氏のトーク、演劇ワークショップ等を行った。



ポスター



図録



ジュニアガイド

## ◎出品目録

### 1章 西洋近代の幻想版画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵	備考
1	シャルル・メリヨン	時計塔	1852	エッチング、エング レーヴィング・紙	25.7 × 18.8	群馬県立近代美術館	前期
2	シャルル・メリヨン	ノートル＝ダムの揚水機	1852	エッチング・紙	17.0 × 24.8	群馬県立近代美術館	後期
3	シャルル・メリヨン	吸血鬼	1861	エッチング・紙	17.0 × 12.8	群馬県立近代美術館	前期
4	シャルル・メリヨン	海軍省(空想と願望)	1866(初 版 1865)	エッチング・紙	16.5 × 14.5	群馬県立近代美術館	後期
5	オディロン・ルドン	『陪審員』(文:エドモン・ピカール)	1887	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	
5-1		I 彼の部屋の壁が裂け、裂け目 から髑髏が現れ出た	1887	リトグラフ・紙	18.3 × 13.6	群馬県立近代美術館	前期
5-2		II 彼女は劇的で、大いなる様子 で、ドルイド教の巫女のよう髪を して彼の前に姿をあらわす	1887	リトグラフ・紙	15.5 × 9.8	群馬県立近代美術館	前期
5-3		III 一般庶民で、残忍な男がひとり、 馬の頭の下を通り抜けて行った	1887	リトグラフ・紙	20.5 × 15.4	群馬県立近代美術館	前期
5-4		IV 近くの鐘塔で聖ギュデュルの 重々しい鐘の音が時を告げていた	1887	リトグラフ・紙	18.0 × 15.1	群馬県立近代美術館	前期
5-5		V 樹々の枝が骸骨のように入り組 んだ並木道の入口に、つるりとして やせ細った亡靈が姿をあらわす	1887	リトグラフ・紙	21.8 × 16.9	群馬県立近代美術館	後期
5-6		VI 目に見えず、奇矯で、幻想的な、 いま萌芽しつつあるものから成る世 界が、なぜ存在しないといえようか	1887	リトグラフ・紙	19.2 × 14.2	群馬県立近代美術館	後期
5-7		VII 亡靈の不吉な命令:「お前は自 殺しなければならない!」は遂行 された。夢は死をもって終わった	1887	リトグラフ・紙	23.8 × 18.7	群馬県立近代美術館	後期
6	オディロン・ルドン	『聖アントワーヌの誘惑』第1集	1888	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	
6-1		I まず水溜り、ついで娼婦、神殿 の一角、兵士の顔、戦車を後脚で たたいた二頭の馬が引く	1888	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	前期
6-2		II それは双翼の下に七つの大罪 を抱く悪魔だ	1888	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	前期
6-3		III そして空から舞い降りた大きな 鳥が彼女の髪のてっぺんに襲いか かる	1888	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	前期
6-4		IV 彼はブロンズの壺を持ち上げる	1888	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	前期
6-5		V つづいて魚の胴体に人間の頭 をつけた奇妙な生き物が現れた	1888	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	前期
6-6		VI それはバラ色の冠をいただいた 死者の頭である。それが真珠のよ うに白い女の胴体の上にのってい る	1888	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	後期
6-7		VII 緑色の目をしたキマイラがのたう ちまわり吠えたてる	1888	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	後期
6-8		VIII そしてあらゆる種類の恐ろしい 動物が現れる	1888	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	後期

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横 / 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵	備考
6-9		IX いたるところで瞳が焰をはく	1888	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	後期
6-10		X … 円い太陽の真中にイエズス ・キリストの顔が輝く	1888	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	後期
7	ローレンス・ハウ スマン	『ゴブリン・マーケット』(詩:クリス ティーナ・ロセッティ)	1893	ラインブロック・紙 (書籍)	18.6 × 10.4 × 1.3	群馬県立館林美術館	
8	ローレンス・ハウ スマン	『妖精の国の農場』	1894	ラインブロック・紙 (書籍)	20.0 × 12.8 × 3.0	群馬県立館林美術館	
9	ローレンス・ハウ スマン	『眠り草』(詩:バーシー・ビッシュ・ シェリー)	1898	フォトグラヴュール・ 紙(書籍)	21.2 × 15.7 × 1.7	群馬県立館林美術館	
10	ローレンス・ハウ スマン	『月光とクローバー』	1922	木口木版または木 口木版にもとづく写 真製版・紙(書籍)	20.5 × 14.3 × 3.5	群馬県立館林美術館	
11	オスカーニコシユ カ	『夢みる少年たち』	1908	リトグラフ・紙	24.0 × 29.5	群馬県立近代美術館	
11-1		(1) 眠る女					前期
11-2		(2) 帆船					前期
11-3		(3) 船乗りが呼ぶ					前期
11-4		(4) 遠い島					前期
11-5		(5) 語らう男女					後期
11-6		(6) 眠る人々					後期
11-7		(7) 目覚める人々					後期
11-8		(8) 少女リーと私					後期

## 2章 現実を超えた「眞の現実」を求めて—シュルレアリズムの誕生

12	『文学』(復刻版) ジャン=ミシェル・ プラス書店	1978 (原著: 1919- 1924)	書籍(2冊組)	18.5 × 23.8 × 9.3	鹿島茂コレクション	
13	『ミノトール』第1号(表紙:パブロ・ ピカソ)	1933	書籍(表紙:カラー ジュー作品にもとづく 写真製版)	31.5 × 24.2	個人蔵	
13-D	『ミノトール』(復刻版) みすず書 房	1986 (原著: 1933- 1939)	書籍		群馬県立近代美術館	
14	ポール・エリュ 「大気」(ポール・エリュアール アール/パブロ・『豊かな瞳』より) ピカソ	1936	書籍(インク、ペ ンまたは筆による テキストとデッサ ンにもとづく写真 製版)	18.6 × 12.0	群馬県立館林美術館	
15	マックス・エルン 『慈善週間または七大元素』 スト	1934	書籍(5冊組)	30.0 × 23.7 × 3.5	鹿島茂コレクション	
16	マックス・エルン 外壁のマスク スト	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館	
17	パウル・クレー 子どもたち	1929	水彩、木炭・紙	27.5 × 33.5	群馬県立館林美術館	
18	ジャン・デュビュッ 『壁』(詩:ウジェーヌ・ギュヴィック) フェ	1945- 1950 (1950 刊)	リトグラフ・紙	3 8 . 4 × 29.2(ペー パー サイズ)	群馬県立館林美術館	
18-1	壁と人間			32.2 × 27.3		
18-2	III 壁に追いつめられた人			36.0 × 28.3		
18-3	V 壁の前でダンス			34.7 × 28.7		
18-4	VII 壁に立ち小便			35.0 × 28.4		
18-5	IX 壁と旅人たち			36.6 × 27.8		

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横 / 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵	備考
<b>19世紀の幻想画家グランヴィル再発見</b>							
19	J.-J. グランヴィル	「くだらない話」挿絵(『マガザン・ピトレスク』1842年)	1842	書籍	29.6 × 10.0 × 2.7	鹿島茂コレクション(練馬区立美術館寄託)	
20	J.-J. グランヴィル	『もう一つの世界』	1844	書籍	26.8 × 19.6 × 4.0	鹿島茂コレクション(練馬区立美術館寄託)	
21	J.-J. グランヴィル	『生きている花々』	1847	スチール・エング レービング、 手彩色・紙	25.8 × 18.0(ページサイズ)	群馬県立館林美術館	
22		『ビザール』第2号(J.J. グランヴィル生誕150周年記念)	1953	冊子	27.0 × 18.8 × 1.0	鹿島茂コレクション	
<b>ジョルジュ・バタイユの眼</b>							
23	J.-J. グランヴィル	「犯罪と贖罪」「天空の逍遙」 (『マガザン・ピトレスク』1847年)	1847	書籍	29.6 × 10.0 × 2.7	鹿島茂コレクション(練馬区立美術館寄託)	
24	カール・プロス	オシダー渦巻状の若い複葉 フェルト	1920代 (2001ブ)	ゼラチン・シル バー・プリント・紙 リント)	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館	
25	カール・プロス	ニワトコ フェルト	1920代 (2005ブ)	ゼラチン・シル バー・プリント・紙 リント)"	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館	
26	カール・プロス	オオムギ フェルト	1920代 (2003ブ)	ゼラチン・シル バー・プリント・紙 リント)	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館	
27	カール・プロス	マツムシソウの種子 フェルト	1920代 (2000ブ)	ゼラチン・シル バー・プリント・紙 リント)	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館	
28	カール・プロス	マメー若い羽状複葉 フェルト	1920代 (2000ブ)	ゼラチン・シル バー・プリント・紙 リント)	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館	
29	サレバドール・ダリ	『秘密の詩』(詩:ギヨーム・アボリネール)口絵	1967	エッチング・紙	30.0 × 20.0	足利市立美術館(浅川コレクション)	
30-1	ハンス・ベルメー	『マリオネット劇』	1969	ドライポイント・紙	32.5 × 30.0	足利市立美術館(浅川コレクション)	
30-2	ハンス・ベルメー	『マリオネット劇』	1969	ドライポイント・紙	35.0 × 30.0	足利市立美術館(浅川コレクション)	
31	フリードリヒ・シュレーダー=ゾンネ	神秘的な鯨 ネンシュターン	1954	鉛筆・紙	70.0 × 95.0	足利市立美術館(浅川コレクション)	
32	フリードリヒ・シュレーダー=ゾンネ	おんどりのいる形而上学 ネンシュターン	1962	水溶性色鉛筆・紙	95.0 × 64.5	足利市立美術館(浅川コレクション)	
33	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館	
34	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館	
35	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館	
<b>3章 イメージと言葉とオブジェの戯れ—シュルレアリスムの影響と広がり</b>							
36-1	マックス・エルンス	『可愛い牝羊』(文:バンジャマン・トペレ)	1949	エッチング・紙	23.8 × 19.0	足利市立美術館(浅川コレクション)	
36-2	マックス・エルンス	『可愛い牝羊』(文:バンジャマン・トペレ)	1949	エッチング・紙	24.0 × 19.0	足利市立美術館(浅川コレクション)	
37	マックス・エルンス	『ルイス・キャロルの魔法の角笛』	1970	リトグラフ・紙	50.0 × 32.6(ペースサイズ)	群馬県立館林美術館	
38	ドロテア・タニング	『マルセル・デュシャンへのオマージュ』	1971	エッチング、アクアチント・紙	26.3 × 17.5	群馬県立近代美術館	前期
39	カミーユ・ブリアン	『マルセル・デュシャンへのオマージュ』	1971	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙	19.0 × 14.0	群馬県立近代美術館	後期
40	ロベルト・マッタ	『拷罰』 エチャウレン	1966	エッチング、アクアチント・紙	40.8 × 32.5	個人蔵(群馬県立近代美術館寄託)	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横 / 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵	備考
41-1	ロベルト・マッタ・エチャウレン	『解放された直線たち』	1971	エッチング、アクリル チント・紙	43.4×31.6	個人蔵(群馬県立近代前期美術館寄託)	
41-2		『解放された直線たち』	1971	エッチング、アクリル チント・紙	43.4×31.6	個人蔵(群馬県立近代後期美術館寄託)	
41-3		『解放された直線たち』	1971	エッチング、アクリル チント・紙	43.4×31.6	個人蔵(群馬県立近代後期美術館寄託)	
42-1	ロベルト・マッタ・エチャウレン	『ホメロス I (カオスモス)』	1973	エッチング、アクリル チント・紙	49.0×37.5	個人蔵(群馬県立近代前期美術館寄託)	
42-2		『ホメロス I (カオスモス)』	1973	エッチング、アクリル チント・紙	49.0×37.5	個人蔵(群馬県立近代前期美術館寄託)	
43	ロベルト・マッタ・エチャウレン	『ホメロス III (エルゴノート)』	1977	エッチング、アクリル チント・紙	49.0×37.5	個人蔵(群馬県立近代後期美術館寄託)	
44	ロベルト・マッタ・エチャウレン	『ホメロス IV (ポワン・ダピュイ)』	1983	エッチング、アクリル チント・紙	49.0×38.0	個人蔵(群馬県立近代後期美術館寄託)	
45	ジョアン・ミロ	『独り語る』(詩:トリスタン・ツアラ)	1948- 1950 (1950刊)	リトグラフ・紙	38.0×28.0	群馬県立館林美術館	
46	ジョアン・ミロ	『ユビュ王』	1966	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館	
46-1		I 扇絵—ユビュ王誕生					前期
46-2		II 宴会					前期
46-3		III ポーランド王宮で					前期
46-4		IV 開兵式					前期
46-5		V ポーランド王の虐殺					後期
46-6		VI ブーグルラスとその母					後期
46-7		VII 落とし穴に落ちた貴族たち					後期
46-8		VIII ロシア皇帝の宮殿にて					後期
47	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7×40.7× 40.7	群馬県立館林美術館	
48	カレル・アペル	Garden Boy	1958	リトグラフ・紙	33.0×25.4	足利市立美術館(浅川コレクション)	
49	カレル・アペル	飛ぶ魚	1977	アクリル・木	53.3×80.0× 18.0	群馬県立館林美術館	
50	カレル・アペル	サーカス・シリーズ:鳥の道化	1978	アクリル・木	83.8×89.0× 18.0	群馬県立館林美術館	
51	ピエール・アレシ	手探りで ンスキイ	1974	腐蝕銅版画・和紙	184.8×284.5	群馬県立館林美術館	
51-D	ピエール・アレシ	『自在の輪』(原著:1976) ンスキイ	1976(原著:1971)	書籍		群馬県立館林美術館	
52	アルヌルフ・ライ	祝祭画 ナー	1961	油彩・カンヴァス	34.0×48.5	足利市立美術館(浅川コレクション)	
53	ジャン・ティンゲ リー	機械ドローイング	1963	鉛筆、ドローイング、 ボールペン、セロ テープ・紙	15.0×35.3	足利市立美術館(浅川コレクション)	
54	ジャン・ティンゲ リー	自動デッサン機によるデッサン	1963	色鉛筆・紙	28.3×21.6	足利市立美術館(浅川コレクション)	

#### 4章 シュルレアリズムをめぐって 群馬ゆかりの二人の作家—福沢一郎と鶴岡政男

55	福沢一郎	怖るべき子供	1930	油彩・カンヴァス	60.3×81.0	群馬県立近代美術館	
55-D1	アレクシス・クレー ル	『男女の生理学』(原著:1885) 出版社		書籍		群馬県立館林美術館	
55-D2	トム・ティ	『楽しい科学 100の実験』(原著:1890) ラルース書店		書籍		群馬県立館林美術館	
55-D3	トム・ティ	『楽しい科学 100の実験』(原著:1892) ラルース書店		書籍		鹿島茂コレクション(群馬県立館林美術館寄託)	
56	福沢一郎	科学美を盲目にする	1930	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	群馬県立近代美術館	
56-D1	ジャック・ブルース 監修・解説	『フランス百科全書絵引』(原著:1762) 平凡社	1985(原著:1762)	書籍		群馬県立館林美術館	
56-D2	福沢一郎	『シュルレアリズム』(原著:1937) 潮講座第四巻)アトリエ社		書籍		群馬県立館林美術館	
57	鶴岡政男	朝のみづうみ(磐梯山風景)	不詳	油彩・カンヴァス	60.7×72.8	個人蔵(群馬県立近代美術館寄託)	
58	鶴岡政男	転がっている首	1950	ブロンズ	16.8×21.0× 17.5	群馬県立館林美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横 / 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵	備考
59	鶴岡政男	静かなる夜(山と月と湖)	1955	油彩・カンヴァス	53.0×65.2	群馬県立館林美術館	
60	鶴岡政男	涙する人	1968	油彩・カンヴァス	162.0× 130.3(左) 162.0× 130.5(右)	群馬県立館林美術館	
61	鶴岡政男	赤い蛇	1968頃	パステル・紙	34.0×23.0	群馬県立館林美術館	
62	鶴岡政男	雨の庭	1960代	パステル・紙	36.0×25.0	群馬県立館林美術館	
63	鶴岡政男	素描(1)	1953	インク・紙	35.8×24.7	群馬県立館林美術館	
64	鶴岡政男	素描(2)	1950代	インク・紙	27.5×19.8	群馬県立館林美術館	
65	鶴岡政男	素描(4)	1950代	インク・紙	19.0×26.0	群馬県立館林美術館	
66	鶴岡政男	素描(5)	1950代	インク・紙	35.7×26.3	群馬県立館林美術館	
67	鶴岡政男	青いカーテン	不詳	鉛筆、インク、パス テル・紙	6.5×11.0	群馬県立館林美術館	
68	鶴岡政男	題不明(人々 I )	不詳	墨、水彩・紙	7.1×30.3	群馬県立館林美術館	
69	鶴岡政男	題不明(人々 II )	不詳	インク・紙	12.0×13.0	群馬県立館林美術館	
70	鶴岡政男	題不明(顔)	不詳	インク・紙	13.0×13.0	群馬県立館林美術館	

## 5章 戦後日本の有機的フォルムと不定形の美—シュルレアリスムから抽象へ

71	岡本太郎	鳥と人	1951(?)	油彩・カンヴァス	59.0×44.0	個人蔵(群馬県立近代美術館寄託)	
71-D		『岡本太郎第1画文集 アヴァンギャルド』月曜書房	1952 第3版(初版1948)	書籍		群馬県立近代美術館	
72	勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5×30.0 62.5×	一般財団法人草月会(群馬県立館林美術館寄託)	
73	勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0×32.5 33.0×	一般財団法人草月会(群馬県立館林美術館寄託)	
74	勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5×50.0 64.5×	一般財団法人草月会(群馬県立館林美術館寄託)	
75	勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0×48.0 53.0×	一般財団法人草月会(群馬県立館林美術館寄託)	
76	桜井孝身	オヒサマウキウキ	1958	油彩、コールター ル・板	110.0×92.0	足利市立美術館(浅川コレクション)	
77	今井俊満	晩秋	1963	油彩・カンヴァス	195.2×114.0	群馬県立近代美術館	
78	サム・フランシス	インディゴ・ウッド	1982	リトグラフ・紙	152.4×127.0	群馬県立近代美術館	前期
79	サム・フランシス	無題(ミシェル・ヴァルドベルグ:空の詩)より	1986	リトグラフ・紙	76.0×56.0	群馬県立近代美術館	後期
80	瀧口修造	デカルコマニー	1962	デカルコマニー・紙	11.7×13.8	足利市立美術館(浅川コレクション)	
81	福島秀子	題不詳	不詳	グワッシュ・紙	98.0×61.0	足利市立美術館(浅川コレクション)	
82	加納光於	黒の支配I	1960	インタリオ・紙	52.4×42.5	足利市立美術館(浅川コレクション)	
83	加納光於	燐と花と	1960	インタリオ・紙	68.4×32.8	足利市立美術館(浅川コレクション)	
84	池田龍雄	『版画集「梵天」』より	1974	シルクスクリーン・紙	35.8×35.8	足利市立美術館(浅川コレクション)	
85	池田龍雄	『版画集「梵天」』より	1974	シルクスクリーン・紙	35.8×35.8	足利市立美術館(浅川コレクション)	
86	深沢幸雄	骨疾D	1955	エッティング、アクアチント、ドライ ポイント・紙	24.0×17.9	群馬県立館林美術館	
87	深沢幸雄	母子像	1956	メゾチント・紙	22.6×36.0	群馬県立館林美術館	
88	深沢幸雄	橋	1958	ディープ・エッ칭 グ、エッティング、ソ フト・グランド・エッ チング、シュガー・ アクアチント・紙	50.9×45.2	群馬県立館林美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵	備考
89	深沢幸雄	残像	1961	デイープ・エッヂング、エッティング、ゾフト・グランド・エッティング、シュガー・アクアチント、ドライポイント・紙	29.8×36.1	群馬県立館林美術館	
90	深沢幸雄	新しい夜	1961	デイープ・エッヂング、アクアチント、メゾチント、エッティング、ルーレット・紙	36.2×33.5	群馬県立館林美術館	
91	深沢幸雄	假面	1962	デイープ・エッヂング、エッティング、シュガーアクアチント、アクアチント・紙	29.6×18.9	群馬県立館林美術館	
92	深沢幸雄	暗い青春	1962	デイープ・エッヂング、アクアチント、サルファチント、エッティング・紙	45.1×36.2	群馬県立館林美術館	
93	深沢幸雄	望郷	1962	デイープ・エッヂング、エッティング、シュガーアクアチント・紙	23.3×13.5	群馬県立館林美術館	
94	深沢幸雄	個と外部	1962	デイープ・エッヂング、エッティング、アクアチント・紙	48.5×36.0	群馬県立館林美術館	
95	深沢幸雄	憂愁の裸像	1992	エッティング、ディープエッティング、アクアチント、メゾチント・紙	36.0×69.2	群馬県立館林美術館	

## 6章 現実の先の異世界—現代日本の作家たち 7章 自然と時間のかけらを集めて—スタン・アンダソン／亀山知英

須田一政	「風姿花伝」より					群馬県立館林美術館	
96	岐阜郡上八幡・1975年	1975	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	32.0×32.0			
97	神奈川三浦三崎・1975年6月2日	1975	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	32.0×32.0			
98	群馬太田・1975年6月8日	1975	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	32.0×32.0			
99	群馬安中・1976年	1976	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	32.0×32.0			
100	群馬太田大光院新田春龍、さつき祭・1976年6月6日	1976	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	32.0×32.0			
101	秋田西馬音内、盆踊り・1976年8月18日	1976	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	32.0×32.0			
102	富山砺波・1976年9月17日	1976	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	32.0×32.0			
103	茨城大洗・1977年7月24日	1977	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	32.0×32.0			
104	茨城阿字ヶ浦・1977年8月7日	1977	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	32.0×32.0			
105	安田千絵	Untitled	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	34.5×34.5		群馬県立館林美術館	
106		Untitled	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	34.5×34.5		群馬県立館林美術館	
107		Untitled	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	34.5×34.5		群馬県立館林美術館	
108		Untitled	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	34.5×34.5		群馬県立館林美術館	
109		Untitled	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	34.5×34.5		群馬県立館林美術館	
110		Untitled	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	34.5×34.5		群馬県立館林美術館	
111		Untitled	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	34.5×34.5		群馬県立館林美術館	
112		Untitled	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	34.5×34.5		群馬県立館林美術館	
113	シンゴ・ヨシダ	見えない旅路	ラムダプリント・紙	70.0×47.0(写真 作品)		群馬県立館林美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横 / 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵	備考
114	横尾忠則	予兆の刻 III	1989	シルクスクリーン・紙	33.0×50.0(資料 群馬県立館林美術館 写真)	1氏コレクション(群馬県 館林美術館寄託)	
115	大岩オスカール	パン・デ・アスカル	1995	アクリル・合板	112.0×70.0	群馬県立館林美術館	
116	大岩オスカール	シャドウキャットとライトラビットの出 会い2	1999	油彩・カンヴァス	120.0×180.0	I氏コレクション(群馬県 館林美術館寄託)	
117	近藤正勝	Eerie tree by the lake	2006	油彩・カンヴァス	227.0×222.0	I氏コレクション(群馬県 館林美術館寄託)	
118	大坂秩加	ちょっと高い合コン	2011	アクリル、水彩、色 鉛筆・麻布	195.0×142.0	群馬県立館林美術館	
119	大坂秩加	カップヌードルする	2012	アクリル、水彩、色 鉛筆・白堊地・ 麻布	70.0×50.0	I氏コレクション(群馬県 館林美術館寄託)	
120	加藤泉	無題	2000	油彩・カンヴァス	120.0×90.0	I氏コレクション(群馬県 館林美術館寄託)	
121	加藤泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	40.7×24.0	個人蔵(群馬県立館林 美術館寄託)	
122	加藤泉	無題	2017	ソフトビニール、金 屬	33.3×24.0	個人蔵(群馬県立館林 美術館寄託)	
123	鴻池朋子	あたらしいほね	2016	牛革、ミクストメディ ア	60.0×17.0× 18.0 5.0	個人蔵(群馬県立近代 美術館寄託)	

## 7章 自然と時間のかけらを集めて—スタン・アンダソン／亀山知英

124	スタン・アンダソン ドローイング	不詳	鉛筆・紙	30.0×23.0(9点)	個人蔵(群馬県立館林 美術館寄託)	
125	スタン・アンダソン ドローイング(迷路)	不詳	墨・紙	79.0×119.0	個人蔵(群馬県立館林 美術館寄託)	
126	スタン・アンダソン 犬の散歩道一暮坂高原古道再生 プロジェクト	2015	樹皮、木	180.0×290.0× 25.0	個人蔵(群馬県立館林 美術館寄託)	
127	スタン・アンダソン 紙漉き作品 1	不詳	樹皮、木、イノシシ の骨	130.0×146.0× 6.0	個人蔵(群馬県立館林 美術館寄託)	
128	スタン・アンダソン 紙漉き作品 4	不詳	樹皮、木	110.0×147.0× 15.0	個人蔵(群馬県立館林 美術館寄託)	
129	スタン・アンダソン 紙漉き作品 5	不詳	樹皮、蛇皮、木	135.0×65.0× 7.0	個人蔵(群馬県立館林 美術館寄託)	
130	スタン・アンダソン 立体作品	不詳	樹皮、木、動物の 骨	186.0×136.0× 100.0	個人蔵(群馬県立館林 美術館寄託)	
131	スタン・アンダソン 動物の絵柄の紙漉き作品	不詳	樹皮、貝殻	直径 約 30.0 (13 点)	個人蔵(群馬県立館林 美術館寄託)	
131- D1	スタン・アンダソン作品活動記録写 真					群馬県立館林美術館
131- D2	スタン・アンダソン旧蔵書籍					個人蔵(群馬県立館林 美術館寄託)
132	亀山知英 アーチ - 館林駅前にあったアーチ ケードを動機として	2023	アクリルグワッシュ・ 木、垂木(館林市内 廃建材)、他	238.8×233.5× 17.0	作家蔵	
133	亀山知英 トタンの家(YA-MA-YA-MA-2016 からの再構成)	2023	木、垂木(館林市内 廃建材)、トタン、他		作家蔵	
134	亀山知英 HI-TO-BI-TO- I ~ X	2021- 2023	アクリルグワッシュ・ 木、トタン (館林市内廃建 材)、他		作家蔵	
135	亀山知英 HI-TO-BI-TO-M- I ~ III	2023	アクリルグワッシュ・ 木、トタン (館林市内廃建 材)、他		作家蔵	
136	亀山知英 HI-TO-GA-TA- I ~ VII	2023	アクリルグワッシュ・ 垂木、トタン(館林 市内廃建材)、他		作家蔵	
137	亀山知英 四つ足動物の様に -IV .XI~XII	2023	アクリルグワッシュ・ 垂木、トタン(館林 市内廃建材)		作家蔵	
138	亀山知英 台座 - I	2023	アクリルグワッシュ・ 垂木、トタン(館林 市内廃建材)、アクリ ル板、他		作家蔵	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横 / 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵	備考
139	亀山知英	台座-II	2023	アクリルグワッシュ・ 垂木、トタン(館林 市内廃建材)、アク リル板、他		作家蔵	
140	亀山知英	HI-TO-GA-TA-大	2023	アクリルグワッシュ・ 本町一丁目に旧某 本屋解体時に採集 木材		作家蔵	
141	亀山知英	四つ足動物の様に-大	2023	千代田町旧 S木材 店及び母屋解体時 に採取したトタン、 他		作家蔵	
142	亀山知英	YA-MA(YA-MA-YA-MA-2016か ら)	2023	西本町旧 A和菓子 店解体時に採取し たトタン、他		作家蔵	
143	亀山知英	写された YA-MA-YA-MA-2023- I	2023	鉄粉、黒鉛によるフ ロッタージュ、銅版 画のコラージュ・雁 皮紙	96.0×378.0	作家蔵	
144	亀山知英	写された YA-MA-YA-MA-2022- II	2022	鉄粉によるフロッ タージュ、銅版画の コラージュ・洋紙	124.0×700.0	作家蔵	
145	亀山知英	YA-MA-YA-MA-2016	2016	トタン(館林市内廃 建材)	サイズ可変	作家蔵	
146	亀山知英	無題	2023	アクリルグワッシュ・ 木	34.0×9.0×13.0	作家蔵	

#### 展示室1 フランソワ・ポンポンの彫刻コレクション

1	フランソワ・ポンポン シロクマ ン	1923- 1933	白色大理石	24.7×45.5× 11.7	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン 風見鶏 ン	1908- 1932	銅板	47.0×54.4×6.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン フクロウ ン	1923	ブロンズ	17.7×7.9×8.2	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン ほろほろ鳥 ン	1910- 1912	ブロンズ	19.8×23.4× 10.7	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン 立って頭を下げているインドの牝 鹿	1927- 1928	ブロンズ	12.5×20.8×8.0	群馬県立館林美術館

## ◎印刷物・会場作成物

・図録 B5 判変形 (24.8 × 15.0cm) 96 頁

内容：

ごあいさつ

Foreword

目次

論文「ふたたび「夢のなかの自然」について考える」(伊藤佳之)

図版

1 西洋近代の幻想版画

2 現実を超えた「眞の現実」を求めて—シュルレアリスムの誕生

3 イメージと言葉とオブジェの戯れ—シュルレアリスムの影響と広がり

4 シュルレアリスムをめぐって 群馬ゆかりの二人の作家—福沢一郎と鶴岡政男

5 戦後日本の有機的フォルムと不定形の美—シュルレアリスムと抽象

6 現実の先の異世界—現代日本の作家たち

7 自然と時間のかけらを集めて スタン・アンダソン／亀山知英

作家略歴

主要参考文献

出品作品リスト

執筆：伊藤佳之（福沢一郎記念館）

松下和美

編集：松下和美

挨拶文翻訳：小川紀久子

デザイン：本間亮（Grotesk）

制作：erA

印刷：株式会社東京印書館

発行：群馬県立館林美術館

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 三つ折り、14.8 × 44.0cm (仕上がりサイズ 14.8 × 14.8cm)

デザイン：本間亮（Grotesk）

制作：erA

・パネル

挨拶 2 枚、章解説 7 枚、解説パネル約 7 枚

・会場配布用作品リスト

## ◎主要関連記事

(長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日ぐんま

5.19

「企画展示「夢と自然の探究者たち—19世紀幻想版画、シュルレアリスム、現代日本の作家まで」＊〈文化紀行〉(学芸員 松下和美)

・上毛新聞

5.17

「県立館林美術館「夢と自然の探究者たち」展より①パウルクレー『子どもたち』＊〈アートを愉しむ〉(学芸員 松下和美)

5.24

「県立館林美術館「夢と自然の探究者たち」展より④ジョアン・ミロ『ユピュ王』より「ポーランド王の虐殺」＊(アートを愉しむ)(学芸員 松下和美)

5.25

「館林美術館 来月 25 日まで企画展 版画、写真で幻想世界」\*

5.28

「謎めいた幻想の世界 油彩画や立体など 150 点展示」\*

5.31

「県立館林美術館「夢と自然の探究者たち」展より⑤大岩オスカル『パン・デ・アスカル』＊(アートを愉しむ)(学芸員 松下和美)

6.5

「館林美術館企画展「夢と自然の探究者たち」鶴岡や福沢ら国内外 45 作家 無意識や直感領域に触れる」＊〈文化〉

・タウンぐんま 中毛版

5.19

「夢と自然の探究者たち—19世紀幻想版画、シュルレアリスム、現代日本の作家まで」〈展覧会〉

〔定期刊行物〕

・いけ花龍生

5月号

「夢と自然の探究者たち—19世紀幻想版画、シュルレアリスム、現代日本の作家まで」

・美術の窓

6月号

「夢と自然の探究者たち—19世紀幻想版画、シュルレアリスム、現代日本の作家まで 4月 22 日(土)～6月 25 日(日)」(美術館)

・ZENBI

R6.2 月号

「挑戦する公立美術館コレクション展—「夢と自然の探求者たち—19世紀幻想版画、シュルレアリスム、現代日本の作家まで」展と「浅川コレクション」」(足利市立美術館学芸員 篠原誠司)

[Web]

・日本教育新聞(関東版)

6.14

「「夢と自然の探求者たち」展開催 群馬県立館林美術館」\* (学芸員 松下和美)

<https://www.kyoiku-press.com/post-259255/>

・美術手帖

「夢と自然の探求者たち—19世紀幻想版画、シュルレアリスム、現代日本の作家まで」〈Exhibitions〉

<https://bijutsutecho.com/exhibitions/11703>

◎放送

[テレビ]

・NHK E テレ

6.11 (再放送 6.18)

「夢と自然の探求者たち」〈日曜美術館アートシーン〉

[ラジオ]

・FM 太郎

4.25

「企画展示「夢と自然の探求者たち」」〈ぐんまいきいき情報〉

5.2

「「夢と自然の探求者たち」イベント」〈ぐんまいきいき情報〉



展示室 2

◎関連事業

・アーティストトーク

5.7

講師：亀山知英氏（出品作家）

・記念講演会

5.14

「ゆるゆる目線でいく！自然をとろ~り描いたアーティストたち」

講師：伊藤佳之氏（福沢一郎記念館）

・演劇ワークショップ

「夢から物語を紡ぐ」

5.13

ファシリテーター：加藤真史氏（劇作家、演劇／微熱少年）

・学芸員による作品解説会

5.17、6.11

・たてび☆びじゅつ部

「展覧会ポスターでエコバッグをつくろう」

6.10

・たてび☆キッズウォーク

5.27、6.24



展示室 3



展示室 4



展示室 1

## 2. 佐藤健寿展 奇界／世界

会期	令和5年7月15日(土)～9月18日(月・祝)
会場	展示室2～4
主催	群馬県立館林美術館、朝日新聞社
協力	国立民族学博物館、ピクトリコプリント工房、フレームマン
観覧料	一般 830(660)円 大高生 410(320)円 ( )内は、20名以上の団体割引料金

これまで世界120カ国以上を巡り、各地のありとあらゆる“奇妙なもの”を対象に、博物学的・美学的視点で撮影を続けてきた写真家・佐藤健寿(さとうけんじ 1978-)。世界遺産をもじった造語「奇界遺産」は商標登録を受け、同名で出版された写真集は異例のベストセラーとなった。世界中に散らばる“奇妙なもの”は佐藤のシンプルな視点を通して、見る人に多く

の驚きと発見を与え、未知への好奇心をかきたてている。

本展は、代表作『奇界遺産』、および過去20年にわたる旅を振り返る『世界』からの作品に加え、パンデミック後の新作や群馬での撮り下ろしなど225点を展示した。また、本展では佐藤が撮影した世界各地の事物に関する国立民族学博物館所蔵の資料を合わせて展示した。さらに各地を撮影時に佐藤が撮った動画による作品、高度600kmから地上をとらえた人工衛星写真で構成した『SATELLITE』の2本の映像作品も展示し、約20年にわたって撮影・蓄積された佐藤の作品を網羅的に紹介することができた。

本展は全国巡回の展覧会だったが、東日本での開催は当館のみということもあり、県外から多くの来館者があり、当館での歴代最多の入館者数を記録した。



ポスター



図録



ジュニアガイド

◎出品目録

**奇界／WONDER**

作品番号	タイトル	国・地域	撮影年／月	縦×横(mm)
<b>居住 生きた歴史</b>				
X-001A-B	中洞組	中国	2008	682 × 1030
X-002	イエメンの古代摩天楼	イエメン	2012	481 × 728
X-003	セテニル	スペイン	2008	481 × 728
X-004	福建土楼	中国	2012	682 × 1030
X-005	ワカチナ	ペルー	2008	481 × 728
X-006	ティエベレ	ブルキナファソ	2012	481 × 728
X-007	果貿社區	台湾	2018	481 × 728
X-008	月牙泉	中国	2018	1030 × 682
X-009A	ネネツ	ロシア	2017	968 × 1456
X-009B	ネネツ	ロシア	2017	486 × 728
X-009C-D	ネネツ	ロシア	2017	340 × 515
X-010	ベルベル人	モロッコ	2010	481 × 728
X-011A	平壤	北朝鮮	2018	682 × 1030
X-011B-C	平壤	北朝鮮	2018	482 × 728
X-011D-E	平壤	北朝鮮	2018	340 × 515
<b>廃墟 栄ちた未来</b>				
X-012A	プリピヤチ	ウクライナ	2010	682 × 1030
X-012B-D	プリピヤチ	ウクライナ	2010	340 × 515
X-013	アラル海	ウズベキスタン	2019	481 × 728
X-014	パズルージャ	ブルガリア	2015	481 × 728
X-015	パワープラントIM	ベルギー	2015	728 × 481
X-016	レッド・サンズ要塞	イギリス	2015	728 × 481
X-017	後頭湾村	中国	2018	481 × 728
X-018	カンボアモール劇場	キューバ	2016	481 × 728
X-019A	軍艦島（端島）	日本	2017	684 × 1030
X-019B-E	軍艦島（端島）	日本	2017	481 × 728
X-020A-B	摩耶観光ホテル	日本	2019	481 × 728
X-021	ブレンディオ・モデーロ刑務所	キューバ	2016	481 × 728
<b>奇景 自然と人類</b>				
X-022	氷河洞窟	アイスランド	2015	481 × 728
X-023	エルタ・アレ	エチオピア	2015	481 × 728
X-024	マラカイボ湖	ベネズエラ	2016	481 × 728
X-025	ダルヴアザ	トルクメニスタン	2018	481 × 728
<b>構造物 社会主義とテーマパーク</b>				
X-026A	マトヨーシカ・ホテル	中国	2018	993 × 1456

作品番号	タイトル	国・地域	撮影年 / 月	縦×横(mm)
X-026B	マトリョーシカ・ホテル	中国	2018	483 × 728
X-026C	マトリョーシカ・ホテル	中国	2018	340 × 515
X-027	天子大酒店	中国	2010	728 × 481
X-028	豊都鬼城	中国	2008	340 × 515
X-029	スイ・ティエン公園	ベトナム	2009	682 × 1030
X-030	小矮人王国	中国	2012	340 × 515
X-031	マンモス公園	中国	2018	481 × 728
X-032	先史渓谷	キューバ	2016	340 × 515
X-033	怪物庭園	イタリア	2009	340 × 515
X-034A	ハウパー・ヴィラ	シンガポール	2007	280 × 420
X-034B-D	ハウパー・ヴィラ	シンガポール	2007	118 × 178
X-034E	ハウパー・ヴィラ	シンガポール	2007	178 × 118
X-034F-G	ハウパー・ヴィラ	シンガポール	2007	118 × 178
X-034H	ハウパー・ヴィラ	シンガポール	2007	178 × 118
X-034I-J	ハウパー・ヴィラ	シンガポール	2007	118 × 178
X-034K	ハウパー・ヴィラ	シンガポール	2007	178 × 118

### 習俗 奇妙と正常

X-035	金剛宮	台湾	2009	968 × 1456
X-036	幽霊教会	チェコ	2018	340 × 515
X-037	バツー洞窟のタイプーサム	マレーシア	2012	340 × 515
X-038A	タイの地獄寺	タイ	2008-2018	280 × 420
X-038B-D	タイの地獄寺	タイ	2008-2018	118 × 178
X-038E	タイの地獄寺	タイ	2008-2018	178 × 118
X-038F-G	タイの地獄寺	タイ	2008-2018	118 × 178
X-038H	タイの地獄寺	タイ	2008-2018	178 × 118
X-038I-J	タイの地獄寺	タイ	2008-2018	118 × 178
X-038K	タイの地獄寺	タイ	2008-2018	178 × 118
X-039	ビンロウ西施	台湾	2009	515 × 340
X-040	イタコ	日本	2016	515 × 340
X-041	新郷村 キリストの墓	日本	2015	340 × 515
X-042	いざなぎ流	日本	2016	340 × 515
X-043	西大寺会陽	日本	2017	340 × 515
X-044	レイチュン・セチャード大仏	ミャンマー	2011	683 × 1030
X-045A, C	マスゲーム	北朝鮮	2018	969 × 1456
X-045B, D	マスゲーム	北朝鮮	2018	682 × 1030
X-046	マレルド	フィリピン	2011	340 × 515
X-047	ファティマ	ポルトガル	2008	340 × 515
X-048	十字架の丘	リトアニア	2010	340 × 515
X-049	呪術師の市場	トーゴ	2012	682 × 1030
X-050	白鹿権現	日本	2010	682 × 1030

### 宇宙 希望と絶望

X-051A-B	バイコヌール宇宙基地	カザフスタン	2014	481 × 728
X-052	コスモナフトラル駅	ウズベキスタン	2018	728 × 481

作品番号	タイトル	国・地域	撮影年／月	縦×横(mm)
X-053	核ミサイル発射場跡	アメリカ	2018	481 × 728
X-054	種子島	日本	2016	728 × 481
<b>創造 無駄という人類の天賦</b>				
X-055	三芝頂山寺貝殻廟	台湾	2009	682 × 1030
X-056	彩虹眷村	台湾	2012	682 × 1030
X-057	シュヴァルの理想宮	フランス	2012	682 × 1030
X-058A-B	ベイヨー・ロンコネン公園	フィンランド	2010	340 × 515
X-059A-D	レイモンド・モラレスの彫刻庭園	フランス	2012	340 × 515
X-060	人形島	メキシコ	2016	481 × 728
X-061	ラス・ポサス	メキシコ	2016	728 × 481
X-062	サルベーション・マウンテン	アメリカ	2011	481 × 728
<b>博物館 蕊集される驚異</b>				
X-063	ムター博物館	アメリカ	2018	340 × 515
X-064	クンストカメラ	ロシア	2017	340 × 515
X-065	ミイラ博物館	メキシコ	2004	340 × 515
X-066	医療史博物館	ラトビア	2010	340 × 515
X-067	髪の毛博物館	トルコ	2011	340 × 515
X-068	シリラート病院法医学博物館	タイ	2019	340 × 515
<b>自然と祭礼</b>				
X-069	トルニヤンの風葬	インドネシア	2013	340 × 515
X-070A	サガダの懸棺	フィリピン	2007	340 × 515
X-070B	サガダの懸棺	フィリピン	2007	515 × 340
X-071	トラジャ族の葬儀	インドネシア	2011	682 × 1030
X-072	カブチノ修道会のカタコンベ	イタリア	2009	340 × 515
X-073	死者の日	メキシコ	2016	728 × 481
X-074A	ファマディアナ	マダガスカル	2017	728 × 481
X-074B-C	ファマディアナ	マダガスカル	2017	340 × 515
X-075A-B	ボディ・ファーム	アメリカ	2018	685 × 1030
X-076	電子花車	台湾	2015	481 × 728
X-077	ドクター・クノッペ・ミイラ研究所	ベネズエラ	2016	728 × 481
X-078	萬松寺納骨堂	日本	2016	481 × 728
X-079A-E	ガ族の棺桶	ガーナ	2012	196 × 297
X-079F-G	ガ族の棺桶	ガーナ	2012	394 × 594
X-079H-L	ガ族の棺桶	ガーナ	2012	196 × 297
<b>信仰 異形の精霊と来訪者</b>				
X-080A	精霊の家	パプア・ニューギニア	2014	682 × 1030
X-080B	精霊の家	パプア・ニューギニア	2014	1030 × 682
X-081	マッドメン	パプア・ニューギニア	2014	682 × 1030
X-082	クケリ	ブルガリア	2018	340 × 515
X-083	パーントウ	日本	2016	340 × 515

作品番号	タイトル	国・地域	撮影年 / 月	縦×横 (mm)
X-084A-B	サンテリアとアバカラ	キューバ	2016	728 × 481
X-085	ボゼ	日本	2016	481 × 728
X-086	アマノハギ	日本	2017	682 × 1030

#### 現代の神話 I 20世紀の夢

X-087A	エリア 51	アメリカ	2006	682 × 1030
X-087B-C	エリア 51	アメリカ	2006	340 × 515
X-088	カピージャ・デル・モンテ	アルゼンチン	2008	340 × 515
X-089	ロズウェル	アメリカ	2006	340 × 515
X-090	ワイクリフ・ウェル	オーストラリア	2013	515 × 340
X-091	三星堆遺跡	中国	2008	340 × 515
X-092	ヒマラヤのイエティの頭皮	ネパール	2005	340 × 515
X-093	ロシア超能力学校	ロシア	2017	340 × 515
X-094	リリー・デール	アメリカ	2018	682 × 1030
X-095	恐山	日本	2016	682 × 1030
X-096	ルルド	フランス	2012	481 × 728
X-097	ネス湖	イギリス	2014	682 × 1030

#### 現代の神話 II 古代からの問い

X-098	ギョベクリ・テペ	トルコ	2011	481 × 728
X-099	百舌鳥古墳群	日本	2021	682 × 1030
X-100	ナンマドール遺跡	ミクロネシア連邦	2009	682 × 1030
X-101	サントリー島	ギリシャ	2009	682 × 1030
X-102	ナスカの地上絵	ペルー	2004	1030 × 682
X-103	イースター島	チリ	2015	682 × 1030

世界／MICROCOSM				
W-001	太平洋		2015	560 × 841
W-002	ユーラシア		2014	560 × 841
W-003	ゲイシール	アイスランド	2015	560 × 841
W-004	アイスランド	アイスランド	2015	560 × 841
W-005	バローシャ	北キプロス	2018	560 × 841
W-006	ボーディー	アメリカ	2019	560 × 841
W-007	ネバダ	アメリカ	2019	841 × 560
W-008	カリフォルニア	アメリカ	2011	560 × 841
W-009	スクランダー1	ラトビア	2018	560 × 841
W-010	レンソイス・マラニヤンセス	ブラジル	2014	560 × 841
W-011	シント・マールテン	シント・マールテン	2014	560 × 841
W-012	ガーベン	インド	2017	841 × 560
W-013	オリッサ	インド	2017	841 × 560
W-014	ミンダット	ミャンマー	2018	841 × 560
W-015	ヤマル半島	ロシア	2017	841 × 560
W-016	キベラ	ケニア	2019	841 × 560

作品番号	タイトル	国・地域	撮影年 / 月	縦×横 (mm)
W-017	バラナシ	インド	2007	560 × 841
W-018	バラナシ	インド	2007	841 × 560
W-019	テキサス	アメリカ	2018	841 × 560
W-020	セントラル・ハイライド	マダガスカル	2017	841 × 560
W-021	オリッサ	インド	2017	841 × 560
W-022	大分	日本	2017	560 × 841
W-023	東京	日本	2021	560 × 841
W-024	平壤	北朝鮮	2018	560 × 841
W-025	平壤	北朝鮮	2018	560 × 841
W-026	デトロイト	アメリカ	2018	560 × 841
W-027	パペーテ	タヒチ	2015	560 × 841
W-028	北京	中国	2018	841 × 560
W-029	コンヤ・ウルゲンチ	トルクメニスタン	2018	841 × 560
W-030	ウラー	サウジアラビア	2019	560 × 841
W-031	ブラックロック・シティ	アメリカ	2019	560 × 841
W-032	月		2020	560 × 841
W-033	ヒマラヤ	ネパール	2005	560 × 841
W-034	モンゴル	モンゴル	2019	560 × 841
W-035	東シナ海	日本	2016	560 × 841
W-036	地中海	ギリシャ	2009	560 × 841

#### 再生 reconnect

ディラン	インド	2023/01	1030 × 682
モン	インド	2023/01	1030 × 682
ピラミデン	スヴァールバル諸島(ノルウェー)	2022/08	481 × 728
ピラミデン	スヴァールバル諸島(ノルウェー)	2022/08	481 × 728
ピラミデン	スヴァールバル諸島(ノルウェー)	2022/08	481 × 728
ピラミデン	スヴァールバル諸島(ノルウェー)	2022/08	481 × 728
ピラミデン	スヴァールバル諸島(ノルウェー)	2022/08	968 × 1456
ダーンサーイ	タイ	2022/07	728 × 481
ダーンサーイ	タイ	2022/07	1030 × 682
ペッチャブーン	タイ	2022/07	1456 × 968
ハートヤイ	タイ	2022/07	1030 × 682
タンナ島	バヌアツ	2023/02	968 × 1456
タンナ島	バヌアツ	2023/02	682 × 1030
タンナ島	バヌアツ	2023/02	481 × 728
タンナ島	バヌアツ	2023/02	481 × 728

#### 撮り下ろし

富岡製糸場 (6点組)	日本	2023	560 × 841 841 × 560
-------------	----	------	------------------------

#### 資料展示

作品番号	資料名	国・地域	所蔵
M-001	ネネツの女性用頭布	ロシア	国立民族学博物館
M-002	なまはげの装束(面)	日本	国立民族学博物館
M-003	なまはげの装束(出刃庖丁)	日本	国立民族学博物館
M-004	なまはげの装束(藁沓)	日本	国立民族学博物館
M-005	棺(飛行機)	ガーナ	国立民族学博物館
M-006	副葬用彫像	インドネシア	国立民族学博物館
M-007	儀礼用仮面	パプア・ニューギニア	国立民族学博物館
M-008	儀礼用仮面	パプア・ニューギニア	国立民族学博物館
M-009	呪物入れ容器(蓋付き)	トーゴ	国立民族学博物館
M-010	玩具(骸骨人形の家)	メキシコ	国立民族学博物館
M-011	遺体包み用織布	マダガスカル	国立民族学博物館
M-012	椅子(神像付き)	パプア・ニューギニア	国立民族学博物館
M-013	仮面 パスポート ガスマスク クケリのぬいぐるみ マトリョーシカ 中国 人工衛星の記念品 エリア 51 の人形 パプア・ニューギニアの仮面	ブルガリア ブルガリア 中国 中国 アメリカ パプア・ニューギニア	国立民族学博物館 佐藤健寿 佐藤健寿 佐藤健寿 佐藤健寿 佐藤健寿 佐藤健寿 佐藤健寿 佐藤健寿

### 映像展示

WONDER / MICROCOSM	約 30 分	提供：佐藤健寿
SATELLITE	約 35 分	提供：佐藤健寿

## ◎印刷物・会場作成物

・巡回展図録 A5 判 (19.8 × 14.8cm) 256 頁 (両面表紙)

内容：

ごあいさつ

「奇界」と「世界」、その「境界」を巡って（佐藤健寿）

論文「驚異の媒介者、佐藤健寿の『奇界』に魅せられて」（山中由里子）

論文「奇」は「終わり」からはじまるーワンダー／驚異」の反転力ー（鶴岡真弓）

奇界

居住／廃墟／奇景／博物館／習俗／宇宙／創造／博物館／死／信仰／現代の神話 I ／現代の神話 II

世界

国立民族学博物館所蔵の出品資料一覧

作品リスト佐藤健寿自著解説

執筆：佐藤健寿

　　山中由里子（国立民族学博物館）

　　鶴岡真弓（多摩美術大学美術館）

編集：Pyramiden Inc.

印刷・製本：サンエムカラー

発行：朝日新聞社

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 三つ折り（仕上がりサイズ 18.3 × 12.8cm）

デザイン：鯉沼恵一

制作：erA

・パネル

挨拶 2 枚、章解説 3 枚、テーマ解説 15 枚、地図 1 枚

・会場配布用作品リスト

## ◎主要関連記事

（長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略）

### [新聞等]

・上毛新聞

7.24

「紙で仮面作り ワークショップ きみような仮面舞踏会」（先どり！

ピックアップ）

7.31

「県立館林美術館 佐藤健寿さん写真展 世界の“奇界”200 点」

\* 〈文化〉

8.20

「紙工作で仮面づくり」 \* 〈東毛〉

9.8

「上毛新聞社ポッドキャスト「奇妙」撮影の写真家登場」 \*

9.15

「三山春秋」 \* 〈三山春秋〉

・タウンぐんま 東毛版

8.18

「佐藤健寿展 奇界／世界」〈Event Information〉

・東京新聞

8.22

「「奇妙なもの」を撮影 館林美術館 佐藤健寿さん作品展」 \*

・毎日新聞

9.1

「佐藤健寿展 奇界／世界」〈遊ナビ〉

・読売新聞

7.21

「館林 佐藤健寿展 奇界／世界」〈イベントガイド〉

### [定期刊行物]

・アートコレクターズ

8月号

「佐藤健寿展 奇界／世界」〈今月の展覧会ガイド〉

・CAPA

2月号

「佐藤健寿「奇界／世界」群馬県立館林美術館 7 月 15 日～9 月 18 日」 \* 〈2023 年の写真展を振り返る〉

・広報たてばやし

令和 5 年 7 月 1 日号

「群馬県立館林美術館 佐藤健寿 奇界／世界」

・ディスカバー・ジャパン

9月号

「いつもと違う「奇界」へようこそ」

・博物館研究

Vol.58 No.8

「群馬県立館林美術館」〈展覧会（美術）〉

・月刊 bilick

7、8、9月号

「群馬県立館林美術館」〈ART & STAGE EVENT〉

・Moteco 両毛版

7、8、9月号

「佐藤健寿展 奇界／世界」〈Event NEWS〉

---

[WEB]

- ・アートアジェンタ
- ・Fashion Press

◎放送

[テレビ]

- ・館林ケーブルテレビ

8.14～8.20

「うらら館林版「群馬県立館林美術館「佐藤健寿展 奇界／世界」」〈見て！聞いて！得する！TV う・ら・ら〉

[ラジオ]

- ・エフエム群馬

7.21、7.28、8.2

「人間力向上委員会」（佐藤健寿氏インタビュー）〈G ★ FORCE〉

- ・エフエム太郎

7.13

「企画展示「佐藤健寿 奇界／世界」開催のお知らせ」

- ・エフエム桐生

7.13

「企画展示「佐藤健寿 奇界／世界」開催のお知らせ」

- ・ラジオ高崎

8.2

「企画展示「佐藤健寿 奇界／世界」開催のお知らせ」

◎関連事業

- ・インスタライブ「佐藤健寿ギャラリーツアー」

7.14

- ・佐藤健寿トーク「奇界／世界を語る」

9.2

- ・学芸員による作品解説会

7.26、8.27

- ・ワークショップ「きみような仮面舞踏会♪」

8.19

- ・たてび☆キッズウォーク

7.22、8.26

- ・みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」

7.20、7.27、8.10、8.17

- ・ポンポン・ツアー

8.6



展示室 4



展示室 4



展示室 3



展示室 2（撮り下ろし）



展示室 2



展示室 2

### 3. 堀内誠一 絵の世界

会期 令和5年10月4日（土）～12月17日（日）  
会場 展示室2～4  
主催 群馬県立館林美術館  
特別協力 堀内事務所  
協力 福音館書店、マガジンハウス  
企画協力 株式会社アートキッチン  
観覧料 一般 830（660）円 大高生 410（320）円  
( ) 内は、20名以上の団体割引料金

デザイナー、アートディレクター、絵本作家であり、雑誌作りにおけるエディトリアルデザインの先駆者でもあった堀内誠一（1932-1987）。若くして百貨店宣伝部に就職し、デザイナーとして研鑽を積みつつ油絵の技法を学んだ。20代半ばからは、『あかずきん』『雪わたり』『くるみわりにんぎょう』など60冊を超える絵本を世に送り出し、生涯に渡り挿絵も数多く描いた。他方、1973年から81年にかけてパリに暮らして世界を巡り、

旅先の風景や地図を描き雑誌で発表するなど、多彩な仕事に意欲的に取り組んだ。

本展は、他分野にまたがる堀内の絵の仕事を紹介したものである。子ども時代の絵や、これまで発表されることのなかつた初期の油彩から、絵本の原画や下絵、雑誌のエディトリアルデザイン、ポスター、絵地図などの貴重な作品を140点紹介した。加えて、堀内における「旅」に注目し、堀内が旅行先で手に入れた資料やアトリエの品々などの資料も紹介した。

展示室内では、絵本を閲覧できるコーナーを設置、館内にはキャラクターのパネルや人気絵本『ぐるんぱのようちえん』にちなんだフォトスポットを作り、親しみやすい展示とした。SNSでの広報に力を入れ、また、市内の福祉作業所に絵本にちなんだビスケット作成を依頼してショップで販売、新聞などで取り上げられることにより展覧会の入館増にもつながり、多くの方に楽しんでいただくことができた。



ポスター



図録



ジュニアガイド

## ◎出品目録

### 1 絵を描きたい その創作の原点

作品名	制作年	技法・素材	所蔵
自画像	1950 代	油彩・キャンヴァス	
自画像	1951 儘	油彩・キャンヴァス	
人物像	1950 代	油彩・キャンヴァス	
青い女性像	1949	油彩・キャンヴァス	
青いサーカス一家	1950	油彩・キャンヴァス	
裸婦	1950 代	油彩・キャンヴァス	
キュー・ポラの街	1949	油彩・キャンヴァス	
風景	1950 代	コンテ・紙	
風景	1951	コンテ・紙	
お絵かきスクラップブック 5、6 歳頃	1937-39		
お絵かきスクラップブック 7、8 歳頃	1939-40		
スケッチブック	1950 代		

### 2 多彩な絵本の世界

#### 2-1 はじまりの絵本たち

くろうまブランキー	1958	油彩・鉛筆・キャンヴァスボード	「こどものとも」1958 年 12 月号(33 号) 福音館書店
たろうのばけつ(1960 年版)	1960	水彩・パステル・インク・紙	「こどものとも」1960 年 6 月号(51 号) 福音館書店
(1968 年版)	1968	水彩・マーカー・ポスターカラー・紙	「こどものとも」傑作集 福音館書店
たろうのともだち(1962 年版)	1962	水彩・インク・ポスターカラー・紙	「こどものとも」1962 年 1 月号(70 号) 福音館書店
(1967 年版)	1967	水彩・マーカー・オイルパステル・紙	「こどものとも」1967 年 4 月号(133 号) 福音館書店
たろうのおでかけ	1963	水彩・グアッシュ・コラージュ・紙	「こどものとも」1963 年 4 月号(85 号) 福音館書店
たろうのひっこし	1983	グアッシュ・紙	「こどものとも」1983 年 4 月号(325 号) 福音館書店
七わのからす	1959	水彩・オイルパステル・鉛筆・紙	「こどものとも」1959 年 8 月号(41 号) 福音館書店
おおきくなるの	1964	水彩・グアッシュ・マーカー・カラートーン・レトラセッタ・紙	「こどものとも」1964 年 6 月号(99 号) 福音館書店
ぐるんばのようちえん	1965	水彩・鉛筆・マーカー・紙	「こどものとも」1965 年 5 月号(110 号) 福音館書店
スケッチブック	1960 代		

#### 2-2 名作と向き合う

くるみわにんぎょう	1968	水彩・グアッシュ・紙	偕成社
おやゆびちーちゃん	1967	色鉛筆・鉛筆・紙	福音館書店
オズの魔法使い	1969	水彩・インク・マーカー・紙	世界文化社／2022 年 偕成社 復刊
あかづきん	1970	水彩・アクリル・パステル・紙	福音館書店
雪わたり	1969	アクリル・パステル・墨・イラストボード	福音館書店

作品名	制作年	技法・素材	所蔵
<b>2-3 好奇心と科学の絵本</b>			
かげ	1970	カラーインク・ポスターカラー・紙・フィルム	「かがくのとも」1970年4月号(13号) 福音館書店
ほね	1974	マーカー・ポスターカラー・紙	「かがくのとも」1974年10月号(67号) 福音館書店
ねびえ	1975	マーカー・墨・紙	「かがくのとも」1975年8月号(77号) 福音館書店
めのはなし	1977	水彩・マーカー・カラーインク・墨・紙	「かがくのとも」1977年10月号(103号) 福音館書店
<b>2-4 広がる絵本の世界</b>			
ぞうのこばな	1969	水彩・鉛筆・カラーインク・墨・紙	ワンダーブック 世界文化社／2023年世界文化社復刊
こぶたのまーち	1969	マーカー・水彩・フィルム・墨・紙	「こどものとも」1969年6月号(159号) 福音館書店
てがみのえほん	1972	水彩・墨・マーカー・パステル他・紙	「こどものとも」1972年11月号(200号) 福音館書店
ぼくにはひみつがあります	1973	アクリル・紙	好学社／2023年主婦の友社復刊
ひでちゃんのにつき	1981	水彩・パステル・マーカー・色鉛筆・紙	「こどものとも」1981年1月号(298号) 福音館書店
でてきておひさま	1984	アクリル・グッシュ・水彩・鉛筆・紙	「普及版こどものとも」1984年2月号 福音館書店
てんのくぎをうちにいったはりっこ	1985	水彩・色鉛筆・コンテ・パステル・紙	「こどものとも」1985年11月号(356号) 福音館書店
いかだは ぴしゃぴしゃ	1987	マーカー・色鉛筆・紙	「こどものとも年中向き」1987年4月号 福音館書店
どうぶつしんぶん はるのごう	1983	マーカー・水彩・紙	「こどものとも」1983年3月号(324号) 福音館書店
どうぶつしんぶん なつのごう	1983	マーカー・水彩・紙	「こどものとも」1983年3月号(324号) 福音館書店
<b>2-5 パリで生まれた絵本たち</b>			
きこりとおおかみ	1977	水彩・墨・紙	「こどものとも」1977年2月号(251号) 福音館書店
『きこりとおおかみ』ができるまで 堀内誠一から時田史郎への手紙			
パンのかけらどいちさなあくま	1979	グッシュ・水彩・紙	「こどものとも」1979年11月号(284号) 福音館書店
ふくろにいれられたおとこのこ	1982	グッシュ・マーカー・紙	「こどものとも」1982年10月号(319号) 福音館書店
ロボット・カミイ	1970	マーカー・カラーインク・水彩・紙	福音館書店
こすずめのぼうけん	1976	水彩・コンテ・紙	「こどものとも」1976年4月号(241号) 福音館書店
『こすずめのぼうけん』ができるまで 堀内誠一から時田史郎への手紙			
いかだは ぴしゃぴしゃ	1987	マーカー・色鉛筆・紙	「こどものとも年中向き」1987年4月号 福音館書店
<b>3 物語を導く挿絵の世界</b>			
人形の家	1967	インク・水彩・パステル・紙	岩波書店
ふらいぱんじいさん	1969	マーカー・水彩・紙	あかね書房
おそうじをおぼえたがらないリスのゲルラング	1973	マーカー・水彩・インク・墨・紙	福音館書店
マザー・グースのうた 全5巻	1975-76	水彩・アクリル・コンテ・インク・鉛筆・紙	草思社
グリム童話集 全10巻	1969-71	アクリル・イラストボード	学習研究社
<b>4 堀内誠一の残したもの</b>			
堀内誠一の頭の中			
アサヒスタディオ 1951 Calendar	1950	印刷・紙	

作品名	制作年	技法・素材	所蔵
ミニコミ誌 いりふね・でふね 第1号 告知ポスター	1974		
ミニコミ誌 いりふね・でふね 第2号 告知ポスター	1974		
「POPEYE」100号 表紙原画	1981	マーカー・スクリーントーン・紙	平凡出版(マガジンハウス)
「POPEYE」124号 表紙原画	1982	パステル・カラーペーパー	平凡出版(マガジンハウス)
「Olive」創刊号 表紙原画	1982	マーカー・カラートーン・紙	平凡出版(マガジンハウス)
「BRUTUS」ロゴ・ロゴ設計図	1980	インク・墨・紙	平凡出版(マガジンハウス)
「BRUTUS」ためのイラストレーション	1982	インク・マーカー・紙	平凡出版(マガジンハウス)
「BRUTUS」39号 表紙原画	1982	インク・マーカー・紙	平凡出版(マガジンハウス)
「anan」1981年5月号 イラストレーション	1981	インク・マーカー・紙	平凡出版(マガジンハウス)
「anan」1981年5月号 デザインラフ	1981	鉛筆・マーカー・紙	平凡出版(マガジンハウス)
「クロワッサン」表紙レイアウトラフ	1973	鉛筆・色鉛筆・カラーシート・オイルパステル・紙	
「BRUTUS」3号 のためのレイアウトラフ	1980	マーカー・色鉛筆・鉛筆・紙	平凡出版(マガジンハウス)
「anan」アメリカ取材スケジュール表・企画プラン	1971	インク・紙	
雑誌「POMPON」ためのイラストレーション	1985	ポスターカラー・マーカー・紙	
新雑誌「ローランサン」ための企画・目次案	1987	マーカー・鉛筆・紙	
女形 玉三郎 ポスター 篠山紀信撮影	1972		

### 風景や情景

メキシコ テオティワカン・笛の音	1982	パステル・紙	
メキシコ バザール・サバト	1982	マーカー・インク・鉛筆・紙	
アルノ河を渡った南のピッティの丘から見た フィレンツェの町	1982	水彩・紙	
シチリアへ タオルミナ	1982	水彩・紙	
サン・ルイ島	1978	水彩・紙	「詩とメルヘン」1978年10月号(68号) サンリオ出版
白いちびの馬 (ベルヴィルの丘)	1978	水彩・コンテ・紙	「詩とメルヘン」1978年10月号(68号) サンリオ出版
マグレブ紀行 カイルアン	1982	水彩・パステル・鉛筆・紙	
マグレブ紀行 チュニスからアルジェへ	1982	水彩・マーカー・紙	
びしょぬれサーカス	1977	アクリル・インク・紙	「詩とメルヘン」1977年11月号(55号) サンリオ出版
デルフィの神域 オリーブの林にかこまれた アテナの聖域	1981	水彩・鉛筆・紙	
ソ連へ ウクライナ村の入口で	1982	アクリル・イラストボード	
オンフルールの水鏡	1980	水彩・グッシュ・紙	

### 地図

ギリシア絵地図	1981	インク・マーカー・紙	
シチリアのイラストマップ	1982	インク・マーカー・紙	
ブルターニュ観光地図	1980	インク・マーカー・水彩・紙	
パリの名所絵地図	1980	インク・墨・水彩・紙	
ベルギー・オランダの旅 スケジュール表	1979	インク・マーカー・紙	「詩とメルヘン」1978年10月号(68号) サンリオ出版
地図 (ベルリン、ブルターニュ、ディジョン、 バーゼル、カンペール・ポンラベー、カルナック、ノルマンディー、バルセロナ)	1980-81	インク・マーカー・水彩・紙	「詩とメルヘン」1978年10月号(68号) サンリオ出版
パリの手紙			

作品名	制作年	技法・素材	所蔵
パリの手紙 3 装苑 1976年3月号	1976	インク・墨・マーカー・コラージュ (切手)	文化出版局
パリの手紙 10 装苑 1976年10月号	1976	インク・墨・マーカー	文化出版局
パリの手紙 11 装苑 1976年11月号	1976	インク・墨・マーカー	文化出版局
<b>ひとり描いた風景</b>			
パリ風景 ポン・ヌフ	1978	鉛筆・水彩・紙	文化出版局
パリ風景 ポン・ヌフからサン・ミシェル橋を見る	1978	鉛筆・水彩・紙	加古総合研究所
パリ風景 ノートルダム大聖堂	1978	鉛筆・紙	加古総合研究所
パリ風景 シテ島よりサン・ルイ島をのぞむ	1978	鉛筆・紙	加古総合研究所
<b>友人たちへの手紙</b>			
安野光雅(画家・絵本作家)宛	1977	インク・マーカー・アエログラム	アエログラム:航空書簡
太田大八(絵本作家)宛	1974	墨・マーカー・アエログラム	
石井桃子(児童文学学者・翻訳家)宛	1975	インク・マーカー・アエログラム	
谷川俊太郎(詩人)宛	1977	インク・水彩・アエログラム	
渡辺茂男(児童文学学者・翻訳家)宛	1976	墨・インク・水彩・アエログラム	

## ◎印刷物・会場作成物

・図録 B5 判変形 (26.0 × 18.4cm) 240 頁

内容 :

目次

第1章 絵を描きたい その創作の原点

第2章 多彩な絵本の世界

第3章 物語を導く挿絵の世界

第4章 堀内誠一の残したもの

堀内誠一 人生のアルバム

堀内誠一 人生をめぐる

論文「堀内誠一の絵本作り」(水木洋子)

論文「堀内誠一は何をした人なのか」(林 綾野)

著作一覧

主要文献一覧

掲載作品リスト

執筆 : 水木洋子 (ひろしま美術館)

林 綾野 (アートキッキン)

監修 : 堀内事務所

編集 : アートキッキン

装丁・アートディレクション : 高橋歩

発行 : 株式会社平凡社

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 三つ折り (仕上がりサイズ 18.0 × 7.0cm)

デザイン : 高橋歩

制作 : 大伸社

・パネル

挨拶 1 枚、章解説 4 枚、セクション解説 5 枚

・会場配布用作品リスト

## ◎主要関連記事

(長文記事は末尾に\*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日ぐんま

10.20

「企画展示「堀内誠一 絵の世界」とにかくわいいらしく、ときにアヴァンギャルドに」\*〈文化紀行〉(学芸員 伊藤香織)

・上毛新聞

10.26

「堀内誠一の世界紹介 絵本原画、パリの絵地図…」\*

11.15

「絵本のビスケット再現 地元作業所手作り、人気に館林美術館・堀内誠一展」\*

11.20

「館林美術館・堀内誠一展 意欲的表現 多彩な顔 絵本原画、風景画、デザイン…」\*

・タウンぐんま

10.13

「堀内誠一 絵の世界」

・読売新聞

11.17

「館林「堀内誠一 絵の世界」」(イベントガイド)

12.6

「「ぐるんぱのようちえん」ビスケット 絵本と同じ 館林美術館で販売「BISCKET」つづり再現」\*

[定期刊行物]

・月刊 アートコレクターズ

10 月号

「堀内誠一 絵の世界」(今月の展覧会ガイド)

・月刊 bilick

10、11、12 月号

「群馬県立館林美術館」(ART & STAGE EVENT)

・MOE

12 月号

「堀内誠一 絵の世界」(今月の展覧会)

・Moteco 両毛版

10、11、12 月号

「堀内誠一 絵の世界」(Event NEWS)

[WEB]

・ファンションプレス

9.1

「絵本作家・堀内誠一の展覧会が群馬県立館林美術館で、初公開の油彩画や絵本原画など画業の全貌に迫る」

## ◎放送

[テレビ]

・NHK 総合 (前橋)

10.17

「館林 堀内誠一さんの作品展 人気絵本や雑誌ロゴなど」(ほつとぐんま 630)

[ラジオ]

・エフエム太郎

10.17

「企画展示「堀内誠一 絵の世界」のお知らせ」

11.21

「「堀内誠一 絵の世界」イベントのお知らせ」

・エフエム桐生

10.31

「企画展示「堀内誠一 絵の世界」のお知らせ」

11.23

「「堀内誠一 絵の世界」イベントのお知らせ」

・ラジオ高崎

10.19

「企画展示「堀内誠一 絵の世界」のお知らせ」

◎関連事業

・記念講演会

11.19

「絵を愛した父」

トーク：堀内花子氏（堀内誠一長女）

聞き手：林綾野（アートキッチン）

・学芸員による作品解説会

10.15、11.29

・たてび☆びじゅつ部

「堀内さんの絵からしおりを作ろう」

11.25

・たてび☆キッズウォーク

11.4、12.9

・ポンポン・ツアー

10.22



展示室 2



展示室 4 絵本コーナー



展示室 4



展示室 4

#### 4. ヒューマンビーイング—藤野天光、北村西望から三輪途道のさわれる彫刻まで

会期	令和6年1月27日（土）～4月7日（日）
会場	展示室2、3、4
主催	群馬県立館林美術館
協力	館林市、群馬大学、一般社団法人メノキ
協賛	セント・メセナの会
観覧料	一般 620（490）円 大高生 310（240）円 ( ) 内は、20名以上の団体割引料金

本展は、美術表現の基本といえる人物像に焦点を当てた展覧会である。表現へのアプローチは時代によって、国・地域によって、作家の個性によってもさまざまである。近代から現代にかけての作家たちが人の姿に託して表現しようとしたものを見た。

彫刻家にとって人物像の表現は主要なテーマといえる。それは、彫刻という概念が、人間中心の西洋思想の中で育ったものであるということに起因する。特に、物を見てその本質をさぐろうとする「写実」を大切にする作家たちにその傾向は顕著である。日本では戦前から前後にかけて、西洋に影響を受

けながら写実表現を追求した、「官展アカデミズム」とよばれる作家たちがいた。本展ではその系譜にいる館林生まれの藤野天光（1903–1974）の生誕120年を記念し、師の北村西望（1884–1987）の作品とともに特集した。

生まれ故郷の群馬県下仁田町で、自らの生活に根ざして人間をみつめる三輪途道（1966–）もまた「写実」を追求する彫刻家である。本展では、2000年前後に制作された木彫による半身像を出品するほか、目が見えなくなつてから生み出された作品を展示し、作品の凸凹とした力強い形態を手で触れて鑑賞できる機会となった。その他、当館に所蔵・寄託された現代作家の絵画・彫刻作品を通して、さまざまな人物表現に迫ることができた。

会期中はセント・メセナの会の協賛により「館林の魅力発見プロジェクト」として「クイズラリー 藤野天光の屋外彫刻を見つけよう！」を実施。館林市立第一資料館と連携し、群馬県内に9点ある藤野天光の屋外彫刻に関するクイズシートを配布し、クイズに参加した景品として展覧会オリジナルクリアファイルをプレゼントした。



ポスター



図録



ジュニアガイド



クイズラリーシート

◎出品目録

第1章 肖像

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横×高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	D氏像	1879年	石膏	65.6 × 36.3 × 31.9	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ポール像	1884年	テラコッタ	38.4 × 21.1 × 17.8	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	ベルト・ポンポン	1894-1932年	石膏	22.7 × 24.9 × 19.9	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	クロード・レイ	1922年	石膏	32.1 × 17.3 × 16.5	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	アンリ・デシャン	1932年	油土	24.6 × 17.7 × 21.4	群馬県立館林美術館
7	藤牧義夫	朝(『新版画』第1号より)	1932年刊	木版・紙	12.0 × 9.7	群馬県立館林美術館
8	藤牧義夫	島のぢいさん(『新版画』第9号より)	1933年刊	木版(多色)・紙	14.4 × 9.4	群馬県立館林美術館
10	三輪途道	KEN 1999.5.18 Age 5	1999年	檜、漆、膠、白土、彩色	55.0 × 29.5 × 17.5	新田安紀芳氏蔵
11	三輪途道	MORIMOTO 1999.7.20 Age 50	1999年	檜、漆、膠、白土、彩色	106.0 × 54.5 × 30.0	作家蔵
12	三輪途道	TOYOKO 2000.1.12 Age 60	2000年	檜、漆、膠、白土、彩色	102.0 × 50.0 × 28.0	新田安紀芳氏(群馬県立館林美術館寄託)
13	三輪途道	SELF	2000年	檜、漆、膠、彩色	42.0 × 24.0 × 25.0	O氏蔵
14	三輪途道	SELF(顔)	2000年	檜、漆、膠、彩色	24.0 × 17.0 × 14.0	勝田道久氏蔵
15	三輪途道	下仁田ーおじい	2003年	檜、漆、膠、彩色	79.0 × 59.0 × 64.0	新田安紀芳氏(群馬県立館林美術館寄託)
16	三輪途道	下仁田ーおばあ	2003年	檜、漆、膠、彩色	83.0 × 50.0 × 56.0	新田安紀芳氏(群馬県立館林美術館寄託)
17	三輪途道	扉は開く	2014年	檜、漆、膠、白土、彩色	98.0 × 56.0 × 42.0	作家蔵
18	三輪途道	白山の人	2014年	檜、漆、膠、白土、彩色	115.0 × 57.0 × 30.0	作家蔵
19	三輪途道	月を読む	2014年	檜、漆、膠、白土、彩色	100.0 × 46.0 × 33.0	作家蔵

特集展示 頭像にみる藤野天光一師、北村西望とともに

20	北村西望	北村西望自刻胸像	1918年	石膏・彩色	38.0 × 25.0 × 22.0	井の頭自然文化園彫刻園
21	北村西望	將軍の孫	1918年	石膏・彩色	51.0 × 29.0 × 20.0	井の頭自然文化園彫刻園
22	北村西望	平和祈念像(1/20 雕形)	1951年	石膏直付・彩色	48.0 × 40.0 × 15.0	井の頭自然文化園彫刻園
23	北村西望	思い出せぬ顔	1952年	石膏直付・彩色	24.0 × 17.0 × 10.0	井の頭自然文化園彫刻園
24	北村西望	鏡の前	1956年	石膏直付・彩色	45.0 × 16.0 × 20.0	井の頭自然文化園彫刻園
25	北村西望	花吹雪	1965年	石膏直付・彩色	48.0 × 53.0 × 23.0	井の頭自然文化園彫刻園
26	藤野天光	ベレー帽	1926年	石膏・彩色	34.2 × 20.5 × 22.4	館林市
27	藤野天光	首長の男	1926年	石膏・彩色	47.2 × 19.5 × 22.4	館林市
28	藤野天光	菩薩像	1927年頃	木(サクラ材)	11.7 × 9.3 × 5.5	館林市

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横×高さ×幅×奥行きcm)	所蔵
29	藤野天光	首	1928年	木・彩色	42.3 × 16.5 × 21.3	館林市
30	藤野天光	湯あみ	1928年	石膏・彩色	41.0 × 10.2 × 9.5	館林市
31	藤野天光	夢 原型 1	1932年頃	石膏・彩色	13.0 × 23.1 × 7.7	館林市
32	藤野天光	夢 原型 2	1932年頃	石膏・彩色	15.0 × 21.0 × 7.5	館林市
33	藤野天光	座す	1934年頃	石膏・彩色	26.1 × 10.4 × 14.4	館林市
34	藤野天光	国府台君	1936年	石膏・彩色	43.3 × 20.7 × 24.8	館林市
35	藤野天光	父にまさる	1940年	ブロンズ	104.0 × 60.0 × 41.5	館林市
36	藤野天光	宮田伴次郎翁	1940年	石膏・彩色	55.0 × 42.5 × 31.0	館林市
37	藤野天光	島田氏	1940年	石膏・彩色	55.0 × 43.0 × 29.5	館林市
38	藤野天光	老人像	1942年	石膏・彩色	53.0 × 33.0 × 32.5	館林市
39	藤野天光	顔	1951年	石膏・彩色	20.5 × 15.0 × 3.0	館林市
40	藤野天光	無心	1954年	石膏・彩色	46.5 × 36.2 × 25.5	館林市
41	藤野天光	嵩世ちゃん	1954年	石膏・彩色	47.2 × 18.3 × 19.2	館林市
42	藤野天光	婦人	1956年	石膏	37.3 × 22.9 × 24.7	館林市
43	藤野天光	あゝ青春	1962年	ブロンズ、塗料	185.0 × 49.0 × 58.0	東京都現代美術館
44	藤野天光	裸婦臥像	1967年頃	石膏・彩色	13.7 × 70.3 × 24.5	館林市
45	藤野天光	若き日のかなしみ	1969年	ブロンズ、塗料	175.5 × 85.5 × 45.0	東京都現代美術館
46	藤野天光	若き日のかなしみ 習作	1969年頃	石膏	28.0 × 23.3 × 16.0	館林市
47	藤野天光	りんご神像	1973年	石膏、木	45.1 × 44.5 × 24.1	館林市
48	藤野天光	根津嘉一郎	1963年	石膏・彩色	75.0 × 50.0 × 35.0	館林市
49	藤野天光	粧		石膏・彩色	20.0 × 9.7 × 13.0	館林市
50	藤野天光	仏像荒彫		木(シロエンジ材)	45.7 × 20.2 × 14.8	館林市
51	藤野天光	猩猩 1		石膏・彩色	54.8 × 35.4 × 32.3	館林市
52	藤野天光	勧進帳		木(ヒノキ材)	22.5 × 21.7 × 11.7	館林市
53	藤野天光	女官 2		石膏・彩色	33.0 × 8.8 × 8.9	館林市
54	藤野天光	能面 星取り		木(カツラ材)	21.3 × 14.0 × 6.5	館林市
北村西望資料		《平和祈念像》制作アルバム 2 冊				井の頭自然文化園彫刻園

## 第2章 人の営み

55	酒井三良	梨畠	1923年	絹本着色・軸	82.5 × 101.2	群馬県立館林美術館
56	中平四郎	讀賣	1924年	木	60.0 × 34.0 × 25.0	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
57	小杉放菴(未醒)	秋果童子	1926年	油彩・カンヴァス	71.4 × 51.5	群馬県立館林美術館
58	鶴岡政男	人体	1951年	テラコッタ	19.0 × 15.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
59	鶴岡政男	湯呑み(4)	1951年頃	陶器	5.8 × 9.0 × 9.0	群馬県立館林美術館(磯部眞知子氏寄贈)

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横×高さ×幅×奥行きcm)	所蔵
60	鶴岡政男	眠る人	1976年	油彩・カンヴァス	33.0 × 45.5	群馬県立館林美術館
61	鶴岡政男	春の野	1976年	油彩・カンヴァス	33.0 × 45.5	群馬県立館林美術館
62	熊谷守一	裸	1948年	油彩・板	23.8 × 33.2	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
63	猪熊弦一郎	猫と二人の子供	1952年	油彩・カンヴァス	90.7 × 72.5	群馬県立館林美術館
64	勅使河原蒼風	ビーナス	1957年	木	68.0 × 65.0 × 54.0	一般財団法人草月会(群馬県立館林美術館寄託)
65	森芳雄	母子像	1979年	油彩・カンヴァス	130.0 × 97.5	群馬県立館林美術館
66	山口長男	人(III)	1980年	リトグラフ・紙	58.0 × 43.0	I氏コレクション(群馬県立館林美術館寄託)
67	掛井五郎	人間の問題研究 III 四つの足	1985年	ブロンズ	100.0 × 96.0 × 30.0	新田安紀芳氏(群馬県立館林美術館寄託)
68	山口晃	深山寺参詣圖	1994年	油彩・カンヴァス	170.0 × 210.0	群馬県立館林美術館
69	西尾康之	Stand up	1997年	ファイバープラスター	77.5 × 36.0 × 12.0	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
70	大竹利絵子	へび	2006年	木	31.0 × 21.5 × 17.0	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
71	日野之彦	縞の服	2008年	鉛筆・紙	101.6 × 50.4	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
72	日野之彦	二人は走る	2010年	油彩・カンヴァス	259.1 × 193.9	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
73	日野之彦	見つめ合い	2011年	油彩・カンヴァス	91.0 × 91.0	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
74	日野之彦	涼しい風	2018年	色鉛筆・紙	43.3 × 34.2	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
75	日野之彦	曇り空	2018年	色鉛筆・紙	50.4 × 66.7	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
76	白石綾子	room of womb	2010年	アクリル、油彩・パネル	120.0 × 120.0	I氏コレクション(群馬県立館林美術館寄託)

### 第3章 人に託して

77	永井一正	LIFE TO SHARE (人／キリン)	1994年	シリクスクリーン・紙	102.8 × 72.8	群馬県立館林美術館(作者寄贈)
78	永井一正	LIFE TO SHARE (人／サル)	1994年	シリクスクリーン・紙	102.2 × 72.6	群馬県立館林美術館(作者寄贈)
79	永井一正	LIFE TO SHARE (人／シカ)	1994年	シリクスクリーン・紙	102.8 × 72.8	群馬県立館林美術館(作者寄贈)
80	永井一正	LIFE TO SHARE (人／シカ)	1994年	シリクスクリーン・紙	102.8 × 72.6	群馬県立館林美術館(作者寄贈)
81	永井一正	LIFE TO SHARE (人／ヒョウ)	1994年	シリクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館(作者寄贈)
82	松井冬子	同時代のエジプト人	2007年	鉛筆・紙	43.7 × 36.7	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
83	松井冬子	トトメス4世	2007年	鉛筆・紙	36.2 × 44.1	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
84	にしらあづさ	グレタ	2010年	油彩・コットンクロスパネル	41.0 × 31.8	I氏コレクション(群馬県立館林美術館寄託)
85	にしらあづさ	あの子と免れた	2011年	油彩・コットンクロスパネル	162.1 × 112.1	I氏コレクション(群馬県立館林美術館寄託)
86	ロッカクアヤコ	Untitled	2014年	アクリル・段ボール	63.0 × 63.0	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
87	ロッカクアヤコ	Untitled	2017年	アクリル・カンヴァス	140.0 × 100.0	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
88	ロッカクアヤコ	Untitled	2021年	陶器	39.0 × 13.8 × 28.7	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横×高さ×幅×奥行きcm)	所蔵
89	アンディ・デンツラー	Sant Francesc III	2018年	油彩・カンヴァス	140.0 × 120.0	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
90	アンディ・デンツラー	At a Stranger's Table	2018年	油彩・カンヴァス	80.0 × 70.0	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)
91	KYNE	Untitled	2020年	アクリル・ABSレジン	32.0 × 80.0 × 52.5	個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)

#### 第4章 人の気配

92	久野和洋	地の風景・道のかたち	2002-2003年	油彩・カンヴァス	145.5 × 145.5	群馬県立館林美術館(作者寄贈)
93	久野和洋	地の風景・雨後	2006-2007年	油彩・カンヴァス	145.5 × 112.0	群馬県立館林美術館(作者寄贈)
94	三輪途道	おじいの宝 II	2003年	檜、漆、金箔	3.0 × 7.5 × 5.0	新田安紀芳氏(群馬県立館林美術館寄託)
95	三輪途道	おじいの抜け殻	2003年	檜、漆、膠、彩色	14.0 × 44.0 × 38.0	新田安紀芳氏(群馬県立館林美術館寄託)
96	三宅砂織	ベッドルーム 2	2008年	ゼラチンシルバープリント・紙	70.0 × 70.0	I氏コレクション(群馬県立館林美術館寄託)
97	町田久美	“Das rote kostüm” —三浦哲朗『赤い衣装』ドイツ語版表紙	2010年	青墨、岩絵具、顔料・雲肌麻紙	22.8 × 16.5	I氏コレクション(群馬県立館林美術館寄託)
98	町田久美	前夜	2013年	エッチング、リトグラフ、金箔、手彩色・紙	22.7 × 19.2	I氏コレクション(群馬県立館林美術館寄託)
99	町田久美	前夜	2014年	エッチング、リトグラフ、金箔、手彩色・紙	22.7 × 19.4	I氏コレクション(群馬県立館林美術館寄託)

#### 第5章 かお

100	フランソワ・ポンポン	コゼット	1888年	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
101	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923-1933年	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
102	フランソワ・ポンポン	オラン・ウータン(頭部)	1930年	ブロンズ	33.0 × 22.5 × 20.2	群馬県立館林美術館
103	ヘンリー・ムーア	母と子	1938年	ブロンズ、糸	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
104	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981年	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
105	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982年	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
106	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983年	ブロンズ	14.2 × 6.0 × 5.4	群馬県立館林美術館
107	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948年	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
108	バーバラ・ヘップワー ス	アポロン	1951年	スチール・ロッド	158.5 × 79.0 × 110.5	群馬県立館林美術館
109	ジョアン・ミロ	鳥	1970年	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
110	チェスラフ・ズベール	ターコイズ・フォレスト	1994年	ブロンズ、ガラス	46.0 × 51.0 × 35.0	群馬県立館林美術館
111	鶴岡政男	転がっている首	1950年	ブロンズ	16.8 × 21.0 × 17.5	群馬県立館林美術館
112	鶴岡政男	ロレンスの顔	1951年	テラコッタ	6.5 × 4.4 × 5.3	群馬県立館林美術館
113	鶴岡政男	ロレンスの顔	1951年	ブロンズ	6.0 × 4.5 × 5.5	群馬県立館林美術館
114	鶴岡政男	男の顔	1951年	ブロンズ	9.2 × 4.5 × 6.5	群馬県立館林美術館
115	高田博厚	海	1962年	ブロンズ	77.0 × 34.0 × 29.0	群馬県立館林美術館 (小林進氏寄贈)
116	佐藤忠良	男の顔	1965年	ブロンズ	32.5 × 20.0 × 23.0	群馬県立館林美術館 (小林進氏寄贈)

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横×高さ×幅×奥行きcm)	所蔵
特集展示 三輪途道のさわれる彫刻						
117	三輪途道	食いしん坊のやかん	2020年	脱乾漆・彩色	35.5 × 30.0 × 24.0	萬屋金時氏蔵
118	三輪途道	しじみの家族 MAMA	2020年	脱乾漆・彩色	24.0 × 29.5 × 14.0	北村薰氏蔵
119	三輪途道	しじみの家族 PAPA	2020年	脱乾漆・彩色	26.5 × 29.5 × 16.5	作家蔵
120	三輪途道	しじみの家族 Me	2020年	脱乾漆・彩色	16.5 × 18.0 × 11.0	個人蔵
121	三輪途道	泥団子の犬	2020年	脱乾漆・彩色	24.0 × 26.0 × 16.0	個人蔵
122	三輪途道	泥団子仏女	2021年	脱乾漆・彩色	22.0 × 33.0 × 32.5	作家蔵
123	三輪途道	四畳半の泉	2021年	石質粘土心乾漆・彩色	13.5 × 23.0 × 18.5	作家蔵
124	三輪途道	しじみの家族 おじい	2021年	脱乾漆・彩色	17.0 × 29.5 × 28.0	個人蔵
125	三輪途道	しじみの家族 おばあ	2021年	脱乾漆・彩色	16.0 × 28.0 × 27.0	作家蔵
126	三輪途道	しじみの家族 リトル SISTERS 1	2022年	脱乾漆・彩色	15.5 × 29.5 × 16.5	長田雅裕・南悦子氏蔵
127	三輪途道	しじみの家族 リトル SISTERS 2	2022年	脱乾漆・彩色	15.5 × 29.5 × 16.5	梅津宏規氏蔵
128	三輪途道	しじみの家族 セカンド MAMA	2022年	脱乾漆・彩色	19.0 × 30.0 × 34.0	作家蔵
129	三輪途道	泥団子少女	2022年	脱乾漆・彩色	30.5 × 52.0 × 44.0	萬屋金時氏蔵
130	三輪途道	存在する者	2022年	脱乾漆・彩色	82.0 × 67.0 × 64.0	作家蔵
131	三輪途道	存在の守人	2022年	脱乾漆・彩色	38.0 × 49.0 × 50.0	作家蔵
132	三輪途道	守り続ける者	2022年	脱乾漆・彩色	69.0 × 31.0 × 55.0	個人蔵
133	三輪途道	醤油せんべい皿	2022年	脱乾漆・彩色	9.0 × 47.5 × 41.0	作家蔵
134	三輪途道	海苔せんべい皿	2022年	脱乾漆・彩色	12.0 × 46.0 × 46.5	作家蔵
135	三輪途道	砂糖醤油せんべい皿	2022年	脱乾漆・彩色	9.0 × 43.0 × 43.5	作家蔵
136	三輪途道	歌舞伎揚皿	2022年	脱乾漆・彩色	14.0 × 41.0 × 41.0	作家蔵
137	三輪途道	けんぞく家族ー観音音	2023年	石膏心乾漆・彩色	30.0 × 19.0 × 16.0	個人蔵
138	三輪途道	けんぞく家族ー泥団子少女	2023年	石膏心乾漆・彩色	21.0 × 32.0 × 18.0	作家蔵
139	三輪途道	けんぞく家族ー八咫のトリ助	2023年	石膏心乾漆・彩色	29.0 × 25.0 × 23.0	作家蔵
140	三輪途道	けんぞく家族ーリュウ吉	2023年	石膏心乾漆・彩色	16.5 × 32.5 × 25.0	作家蔵
141	三輪途道	けんぞく家族ー天狗太郎	2023年	石膏心乾漆・彩色	29.0 × 26.0 × 28.0	藤本拓巳氏蔵
142	三輪途道	けんぞく家族ー鬼平	2023年	石膏心乾漆・彩色	26.0 × 26.0 × 20.0	作家蔵
143	三輪途道	沈黙の少女ーあめ	2023年	石膏心乾漆・彩色	80.0 × 46.0 × 45.0	作家蔵
144	三輪途道	沈黙の少女ーはな	2023年	石膏心乾漆・彩色	76.0 × 52.0 × 45.0	作家蔵
145	三輪途道	沈黙の少女ーゆき	2023年	石膏心乾漆・彩色	80.0 × 48.0 × 46.0	作家蔵

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横×高さ×幅×奥行きcm)	所蔵
146	三輪途道	沈黙の少女ーまや	2023年	石膏心乾漆・彩色	80.0 × 45.0 × 45.0	作家蔵
147	三輪途道	八畳の泉	2023年	石膏心乾漆・彩色	13.5 × 28.0 × 22.5	作家蔵
148	三輪途道	十二畳の泉	2023年	石膏心乾漆・彩色	19.0 × 39.0 × 32.5	作家蔵
149	三輪途道	二十畳の泉	2023年	石膏心乾漆・彩色	29.0 × 47.0 × 47.0	作家蔵
150	三輪途道	亀の抜け殻	2023年	脱乾漆・彩色	22.0 × 41.0 × 27.0	作家蔵

## ◎印刷物・会場作成物

- ・図録 B5 判変形 (240 × 19.0cm) 80 頁

### 内容 :

ごあいさつ

### 目次

論文「北村西望と藤野天光一道としての師弟関係」(土方浦  
歌)

### 図版

第1章 肖像

特集展示 頭像にみる藤野天光一師、北村西望とともに

第2章 人の営み

第3章 人に託して

第4章 人の気配

第5章 かお

特集展示 三輪途道のさわれる彫刻

時代を生きる 師・藤野天光 晩年の弟子・彫刻家・阿部光  
住氏へのインタビュー

「藤野天光の彫刻」(神尾玲子)

北村西望略年譜

藤野天光略年譜

論文「美術館で作品をさわるということ」(神尾玲子)

三輪途道略年譜

作家略歴

出品作品リスト

執筆：土方浦歌（井の頭自然文化園彫刻園学芸員）

神尾玲子（群馬県立近代美術館学芸員）

編集：野澤広紀（群馬県立館林美術館学芸員）

神尾玲子

表紙デザイン：川添英昭

制作：erA

印刷：株式会社東京印書館

発行：群馬県立館林美術館

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 三つ折り、18.2 × 38.4cm (仕上がりサイズ  
18.2 × 12.8cm)

デザイン：KAWAZOE DESIGN

制作：erA

・パネル

挨拶 1 枚、章解説 5 枚、特集展示解説 2 枚、略年譜 3 枚、  
藤野天光野外彫刻写真 10 枚

・会場配布用作品リスト

## ◎主要関連記事

(長文記事は末尾に\*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

〔新聞等〕

・朝日新聞

3.6

「立体上毛かるた みんなに届ける 普及へ制作者が CF 見えない人とも触覚で世界を共有」\*

3.17

「触れるアート作品 目閉じ…わずかな起伏 立体感を確認 県立館林美術館で企画展」\*

・朝日ぐんま

2.16

「ヒューマンビーイング展 藤野天光、三輪途道のさわれる彫刻  
など…150 点 館林美術館 4 月 7 日まで」\*

・上毛新聞

1.30

「人の姿に思い 彫刻など 150 点 館林美術館」\*

2.5

「ヒューマンビーイング展 館林美術館 藤野天光、北村西望、  
三輪途道さん…人柄、生活臭漂う 150 点」\* 〈culture〉

2.21

「県立館林美術館「ヒューマンビーイング—藤野天光、北村  
西望から三輪途道のさわれる彫刻まで」より④ 藤野天光《ベ  
レー帽》」\* 〈アートを愉しむ〉(学芸員 神尾玲子)

2.22

「生誕 120 年で記念展 4 月まで館林市第一資料館 藤野天光  
魅力感じて 写真や色紙、素顔も紹介」\* 〈シャトル〉

2.28

「県立館林美術館「ヒューマンビーイング—藤野天光、北村  
西望から三輪途道のさわれる彫刻まで」より④ 北村西望《平  
和祈念像 (1/20 ひな型)》」\* 〈アートを愉しむ〉(学芸員  
神尾玲子)

2.29

「三山春秋」\*

3.6

「県立館林美術館「ヒューマンビーイング—藤野天光、北村  
西望から三輪途道のさわれる彫刻まで」より④ 三輪途道《泥  
団子仏女》」\* 〈アートを愉しむ〉(学芸員 神尾玲子)

3.11

「「触察」や言葉で美術鑑賞 メノキが環境づくり 視覚障害者と  
芸術つなぐ」\* 〈culture〉

・タウンぐんま

1.12

「ヒューマンビーイング」〈展覧会〉	2.15
3.1	・館林ケーブルテレビ
「邑楽館林地域でいちご狩りをして館林美術館へ行こう！」＊ 〈Event Information〉	「うらら館林版「群馬県立館林美術館「ヒューマンビーイング －藤野天光、北村西望から三輪途道のさわれる彫刻まで」」 見て！聞いて！得する！TV う・ら・ら」
・毎日新聞	3.4～3.10
2.11	・NHK E テレ「アートシーン ヒューマンビーイング」〈日曜 美術館アートシーン〉
「触れて楽しむ彫刻展 藤野天光などの150点」＊	
〔定期刊行物〕	〔ラジオ〕
・関東の博物館－いばらき・とちぎ・ぐんま・さいたま・ちば－ 第48号	・FM 桐生
「美術館活動を拡張する取り組みについて 群馬県立館林美術 館」＊（学芸員 熊谷ゆう子）	1.25
・Deli-J	企画展示「ヒューマンビーイング－藤野天光、北村西望から 三輪途道のさわれる彫刻まで」のお知らせ 〈ぐんまいきいき情 報〉
2月号	2.1
「ヒューマンビーイング 藤野天光、北村西望から三輪途道のさ われる彫刻まで 〈Information〉	企画展示「ヒューマンビーイング－藤野天光、北村西望から 三輪途道のさわれる彫刻まで」のお知らせ 〈ぐんまいきいき情 報〉
・博物館研究	3.12
Vol.59 No.1	企画展示「ヒューマンビーイング－藤野天光、北村西望から 三輪途道のさわれる彫刻まで」 クイズラリーのお知らせ 〈ぐ んまいきいき情報〉
「群馬県立館林美術館」〈展覧会（美術）〉	・FM 太郎
・美術の窓	1.23
2月号	企画展示「ヒューマンビーイング－藤野天光、北村西望から 三輪途道のさわれる彫刻まで」のお知らせ 〈ぐんまいきいき情 報〉
「ヒューマンビーイング－藤野天光、北村西望から三輪途道のさ われる彫刻まで 1月27日（土）～4月7日（日）」〈美術館〉	2.6
・月刊 bilick	企画展示「ヒューマンビーイング－藤野天光、北村西望から 三輪途道のさわれる彫刻まで」 関連事業のお知らせ 〈ぐん まいきいき情報〉
1、2、3月号	・ラジオ高崎
「群馬県立館林美術館」〈ART & STAGE EVENT〉	1.26
・まま・ここと	企画展示「ヒューマンビーイング－藤野天光、北村西望から 三輪途道のさわれる彫刻まで」のお知らせ
2024冬号 vol.55	三輪途道のさわれる彫刻まで」 関連事業のお知らせ 〈ぐん まいきいき情報〉
「たてび☆びじゅつ部「君も彫刻家！～紙粘土で小さな立体作 品をつくろう！～」」〈FAMILY EVENT〉	
・minimu	
3月号	
「群馬県立館林美術館★ヒューマンビーイング－藤野天光、北 村西望から三輪途道のさわれる彫刻まで」	
・Moteco 両毛版	
1、2、3、4月号「ヒューマンビーイング」〈Event NEWS〉	
◎放送	⑤関連事業
〔テレビ〕	・クイズラリー「藤野天光の野外彫刻を見つけよう！」
・NHK 総合	・さわっておしゃべり鑑賞タイム
「展示会 群馬の彫刻家などが制作「人」テーマに150点」 （ヒューマンビーイング）〈ほっとぐんま 630〉	2.4、2.18、3.2、3.16
	・映画上映「手でふれてみる世界」
	2.11
	・ワークショップ「見えない人、見えにくい人、見える人が一 

緒に作品鑑賞」

2.17

ゲスト：三輪途道（出品作家）

・音楽イベント「音のスケッチ 彫刻をみる／音楽でみる」

2.17

演奏：林耕史（彫刻家・群馬大学教授）、菅生千穂（クラリネット奏者・群馬大学准教授）

・学芸員による作品解説会

2.14、3.10

・たてび☆びじゅつ部

「君も彫刻家！～紙粘土で小さな立体作品をつくろう～」

2.24

・たてび☆キッズウォーク

2.10、3.9

・ポンポン・ツアー

3.24



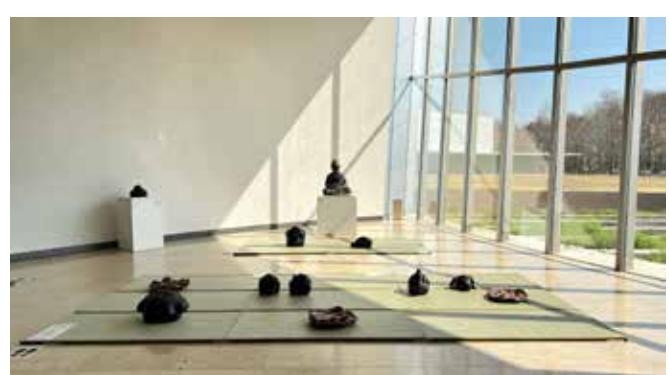
展示室 4



展示室 4



展示室 2



展示室 1

## C. コレクション展示記録

第1期 令和5年7月15日(土)～9月18日(日)

展示室1

「近現代の彫刻I 彫刻を取り囲む空間」

---

第2期 令和5年10月7日(土)～12月17日(日)

展示室1

「近現代の彫刻II」

---

### ◎印刷物・会場作成物

「近現代の彫刻I 彫刻を取り囲む空間」

- ・パネル1枚
- ・会場配布用作品リスト

「近現代の彫刻II」

- ・会場配布用作品リスト

◎出品目録

近現代の彫刻 I 彫刻を取り囲む空間

令和5年7月15日(土)～9月18日(月・祝)

展示室1



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	風見鶏	1908- 1932	銅版	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910- 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918- 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923- 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930- 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
7	フェルナン・レジエ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
8	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
9	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
10	イサム・ノグチ	リス	1984- 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
11	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
12	ジム・ダイン	キング・バロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
13	ブルーノ・ロメダ	純粋な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館
14	和南城孝志	Archetypus 空間への旅I	1979	ブロンズ	12.0 × 35.0 × 35.0	和南城洋子氏寄贈
15	和南城孝志	Archetypus 空間への旅II	1983	ブロンズ、錫	10.0 × 30.0 × 30.0	和南城洋子氏寄贈
16	森亮太	二つの突起	1982	黒御影石	27.0 × 55.0 × 17.0	飯田秀夫氏寄贈
17	森亮太	波	1990	黒御影石	33.0 × 51.0 × 8.0	柴田留理子氏寄贈
18	森亮太	座標	1988	黒御影石	27.5 × 27.0 × 14.0	森とみ子氏寄贈
19	掛井五郎	人間の問題研究III 四つの足	1985	ブロンズ	100.0 × 96.0 × 30.0	寄託作品
20	黒川弘毅	Moon Fish No.2	1986- 1987	ブロンズ	50.0 × 140.0 × 45.0	寄託作品
21	土谷武	蝶I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
22	伊藤博敏	ZIP STONE Metal Age	2013	自然石・ファスナー・ ステンレス球	12.0 × 13.0 × 7.5	寄託作品(1氏コレクション)
23	林茂樹	OO-X VIII	2017	磁土	40.0 × 80.0 × 38.0	寄託作品

## 近現代の彫刻 II

令和 5 年 10 月 7 日～12 月 17 日（日）

展示室 1



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横／高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
2		ラクダ	1906- 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
3		牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
4		ヒグマ	1918- 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
5		雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
6		パン	1923 頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
7		シロクマ	1923- 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
8	シャナ・オルロフ	鳥 1914-1918	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
9		魚／噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
10	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ、糸	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
11		羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
12		後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0 × 9.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
13		馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
14		立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
15		小さな人体	1983	ブロンズ	14.2 × 6.0 × 5.4	群馬県立館林美術館
16	パリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
17	イサム・ノグチ	リス	1984- 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
18	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
19	バーバラ・ヘップワー ス	アポロン	1951	スチール・ロッド	158.5 × 110.5 × 79.0	群馬県立館林美術館
20	勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0 × 53.0 × 48.0	寄託作品
21	土谷 武	無題	1972	軟鋼	105.0 × 75.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
22		蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
23	アーブラハム＝ ダーフィット・クリス ティアン	清らかなる XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
24	清水柾博	image of Mr.S-B	1996	陶	38.0 × 109.0 × 45.0	寄託作品

## D. 彫刻家のアトリエ（別館）展示記録

彫刻家のアトリエの展示ケース内にて資料（一部複製）を展示。展示ごとに配布用解説を作成した。

### 第1期

#### 「フランソワ・ポンポン関連資料より—絵はがきにみるフランスの街並み」

4月22日（土）～6月25日（日） 展示資料：絵はがき（複製）54点

知人などからのポンポン宛ての絵はがきより、フランスの街並みの写真を紹介した。はがきは、ポンポンがパリを拠点としていたこともあり、地方都市から投函されたものがほとんどである。ポンポンの生まれ故郷ソーリューや、ディジョン、パリ近郊、またフランスの切手にも注目した。

### 第2期

#### 「フランソワ・ポンポン関連資料より—馬をめぐって」

7月15日（土）～9月18日（月・祝） 展示資料：写真（複製、参考）5点、絵はがき（複製）17点、雑誌切り抜き（複製）15点  
ポンポンは、最晩年の1930年と1931年に馬の石膏作品を作っているが、試作段階だったのか、ブロンズには鋳造されていない。しかしポンポンが収集した絵はがきや雑誌記事には、種馬のコンクールで賞を獲った馬の写真が多く残されており、参考とした可能性はある。ポンポン資料より騎馬像の絵はがきや、過去・同時代美術における馬の表現についても紹介した。

### 第3期

#### 「フランソワ・ポンポン関連資料より—ポンポンとサロン・ドートンヌ」

10月7日（土）～12月17日（日） 展示資料：写真（複製、参考）8点、作品図版5点、文献（複製）3点

ポンポンが実際の動物サイズの大きな《シロクマ》を発表したのは、1922年のサロン・ドートンヌだった。その出品に際して協力した人々のことや他の出品作について触れるとともに、1923年以降のサロン・ドートンヌで発表した様々な傑作と、1933年のポンポン死後の回顧展などについて紹介した。

### 第4期

#### 「フランソワ・ポンポン関連資料より—墓石職人ポンポン」

1月27日（土）～4月7日（日）

展示資料：写真（参考）10点、文献（複製）1点、その他1点

ポンポンは、他の彫刻家の下彫り職人として長く働いたが、その中で墓石を彫る仕事に焦点をあてた。キュイ＝サン＝フィアクルの《戦没者記念碑》の制作については、現地で取材した写真により紹介した。さらにポンポンの仕事としてあまり知られていない、1922年に依頼を受けて作った劇作家アンリ・バタイユの墓碑像について、最新の研究をふまえ、詳しく紹介した。



第1期



第2期



第3期



第4期

\*令和5年1月より試験的に開始していた「手で触れるポンポン作品」コーナーは、4月22日より作品を2点追加した。設置作品は、『アヒル』1927年(1970年代鋳造)、『スカートの裾をたくしあげるコレセットの女性』1894年(鋳造年不明)、『ボストン・テリヤ「トイ』』1930-1932年(鋳造年不明)の3点となる。常時、誰でも手で触れられる展示コーナーだが、当年度の冬は、「ヒューマンビング」展の関連行事「ワークショップ「見えない人、見えにくい人、見える人が一緒に作品鑑賞」」で特に活用される機会となった。



『手で触れるポンポン作品』コーナー



ワークショップ「見えない人、見えにくい人、見える人が一緒に作品鑑賞」

## E. 入館者数一覧

### 企画展示

	有料観覧者						無料観覧者						観覧者 合計	入館者 合計	
	個人			団体			有料 合計	小中生		学校		身体障 害者等		無料 合計	
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計		団体	害者等	その他					
山中現展 4/1-4/2 2日	342	15	357	0	0	0	357	40	0	21	318	379	736	736	
夢と自然の探求者たち －19世紀幻想版画、シュルレアリズム、現代日本の作家まで－ 4/22-6/25 57日	4,052	242	4,294	127	25	152	4,446	277	40	235	2,328	2,880	7,326	8,302	
佐藤健寿展 奇界／世界 7/15-9/18 58日	17,504	1,012	18,516	0	0	0	18,516	1,917	134	533	6,763	9,347	27,863	28,991	
堀内誠一 絵の世界 10/7-12/17 62日	8,152	293	8,445	48	0	48	8,493	721	685	499	6,102	8,007	16,500	18,463	
ヒューマンビーイング 藤野天光、北村西望から 三輪途道のさわれる彫刻 まで 1/27-3/31 56日	2,907	228	3,135	51	0	51	3,186	212	113	226	2,015	2,566	5,752	7,628	
企画展示 計 235日	32,957	1,790	34,747	226	25	251	34,641	3,167	972	1,514	17,526	23,179	58,177	64,120	

入館者数は、観覧者数に施設利用者数、教育普及事業参加者数を加えた総数。

令和5年度の総入館者数は64,120人である。

# 教育普及

## A. 講演会・アーティストトーク・パフォーマンス

### 1. 講演会

展覧会に関連した講演会を開催した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.14	記念講演会「ゆるゆる目線で行く！自然をとろ~り描いたアーティストたち」	伊藤佳之	講堂	14
11.19	記念講演会「絵を愛した父」	堀内花子	講堂	112
11.19	堀内誠一 スタンプ押印会	堀内花子		33



記念講演会「ゆるゆる目線で行く！自然をとろ~り描いたアーティストたち」



記念講演会「絵を愛した父」



堀内誠一 スタンプ押印会

## 2. トークイベント

展覧会の出品者によるアーティストトークなどのトークイベントを開催した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.7	アーティストトーク	亀山知英	展示室1	63
9.2	佐藤健寿トーク「奇界 / 世界を語る」	佐藤健寿	講堂	125
9.2	佐藤健寿サイン会	佐藤健寿	講堂	71
2.11	映画「手でふれてみる世界」上映会&トーク	岡野晃子、三輪途道	講堂	71



アーティストトーク 亀山知英



佐藤健寿トーク「奇界 / 世界を語る」



佐藤健寿サイン会



映画「手でふれてみる世界」上映会&トーク

## B. 作品解説会・キッズウォーク・ポンポンツアー

### 1. 学芸員による作品解説会

各展覧会において、学芸員が作品解説を行った。

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
5.17	夢と自然の探求者たち	松下	展示室	6
6.11	夢と自然の探求者たち	松下	展示室	24
7.26	佐藤健寿展	熊谷	展示室	30
8.27	佐藤健寿展	熊谷	展示室	91
10.15	堀内誠一 絵の世界	伊藤	展示室	42
11.29	堀内誠一 絵の世界	伊藤	展示室	42
2.14	ヒューマンビーイング	※神尾	展示室	16
3.10	ヒューマンビーイング	※神尾	展示室	25



学芸員による作品解説会



学芸員による作品解説会

## 2. たてび☆キッズウォーク

参加者は、ワークシートを持って展示室を自由に探検しながら作品を鑑賞した。

開催日	会場	参加者数
5.27	展示室	12
6.24	展示室	13
7.22	展示室	27
8.26	展示室	39
11.4	展示室	33
12.9	展示室	55
2.10	展示室	10
3.9	展示室	10



## 3. ポンポン・ツアー

当館人気のフランソワ・ポンポンの彫刻や公開資料を、学芸員の解説を聞きながら鑑賞した。

開催日	担当者	参加者数
6.18	松下	29
8.6	松下	32
10.22	松下	20
3.24	松下	28



## C. ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.13	演劇ワークショップ「夢から物語を紡ぐ」	加藤真史（演出家）	講堂	6
2.17	見えない人、見えにくい人、見える人が一緒に作品鑑賞	三輪途道	講堂、展示室1	46

### 1. 演劇ワークショップ

別館ワークショップ室を会場に開催する演劇公演に向けて、滞在制作中の演出家加藤真史氏と俳優の大竹直氏、加藤亮祐氏と一緒に楽しみながら、身体や言葉を使ったコミュニケーションゲームを通して、演劇とは何かを学ぶワークショップを開催した。



演劇ワークショップ「夢から物語を紡ぐ」

### 2. 見えない人、見えにくい人、見える人が一緒に作品鑑賞

視覚に障害がある人たちと晴眼者が一緒に彫刻作品を触って鑑賞するワークショップ。事前研修を受けたたてび★サポートーが中心となって鑑賞をサポートした。また、群馬県の郷土かるた「上毛かるた」の図柄を簡略化し凹凸を付けた「みんなつながる上毛かるた」を使ったゲーム感覚の体験活動も行った。



見えない人、見えにくい人、見える人が一緒に作品鑑賞」



見えない人、見えにくい人、見える人が一緒に作品鑑賞

## D. 創作体験コーナー みんなのアトリエ 「多色摺り木版画の摺り体験」

みんなのアトリエは夏季企画展会期中の事業で、参加者に簡単な多色摺り木版画の摺り体験を提供している。平成 21 年度より、同会期中に「館林邑楽地区小学生木版画展」を開催していることから、テーマの関連を図り、この事業が始まった。講師に木版画家の中村美穂氏を招き、同氏が制作した版により、摺り方の基本や多色摺りの美しさや面白さを教えていただいた。初回のみ、別館ワークショップ室が蜂の発生により閉鎖となってしまったため、研修室で開催した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.20	多色摺り木版画の摺り体験	中村美穂	研修室	19
7.27	多色摺り木版画の摺り体験	中村美穂	ワークショップ室	54
8.10	多色摺り木版画の摺り体験	中村美穂	ワークショップ室	56
8.17	多色摺り木版画の摺り体験	中村美穂	ワークショップ室	77



みんなのアトリエ1



みんなのアトリエ 2

## E. たてび☆びじゅつ部

「たてび☆びじゅつ部」は誰でも気軽に参加できる無料の造形体験コーナーである。展覧会に関連した造形体験を企画開催した。

開催日	名称	会場	参加者数
6.10	エコバッグを作ろう	ワークショップ室	42
11.25	堀内さんの絵本から「しおり」をつくろう	ワークショップ室	78
2.24	君も彫刻家！～紙粘土で小さな立体作品をつくろう～	ワークショップ室	84



エコバックをつくろう



堀内さんの絵本から「しおり」をつくろう



君も彫刻家！～紙粘土で小さな立体作品をつくろう～

## F. インスタライブ、鑑賞イベント、コンサート、その他イベント

### 1. インスタライブ（インスタグラムのライブ配信）

インスタグラムのライブ配信機能を用いた「インスタライブ」を開催した。

開催日	名称	出演者	会場
7.14	佐藤健寿インスタライブ	佐藤健寿（出品作家）、熊谷	展示室 2・3・4
1.28	三輪途道インスタライブ	三輪途道（出品作家）、神尾玲子（群馬県立近代美術館）	展示室1



佐藤健寿インスタライブ



三輪途道インスタライブ

## 2. さわっておしゃべり鑑賞タイム

三輪途道の彫刻作品や「みんなつながる上毛かるた」（手で触れるかるた）と一緒に鑑賞するイベント。たてび★サポートーと一緒におしゃべりしながら鑑賞をおこなった。

開催日	名称	会場	参加者
2.4	さわっておしゃべり鑑賞タイム	展示室 1	77
2.18	さわっておしゃべり鑑賞タイム	展示室 1	88
3.2	さわっておしゃべり鑑賞タイム	展示室 1	94
3.16	さわっておしゃべり鑑賞タイム	展示室 1	128



さわっておしゃべり鑑賞タイム1



さわっておしゃべり鑑賞タイム2

## 3. スモール・ライブ・セッション 「音のスケッチ 彫刻をみる / 音楽をみる」

展示室 1 を会場に、三輪途道の作品に触れながら、林耕史氏（彫刻家・群馬大学教授）と菅生千穂氏（クラリネット奏者・群馬大学准教授）が、彫刻から感じたインスピレーションを即興で演奏した。視覚、触覚と聴覚でのコラボレーションとなった。

開催日	名称	演奏者	会場	参加者
2.17	スモール・ライブ・セッション 「音のスケッチ 彫刻をみる / 音楽をみる」	林耕史氏（彫刻家・群馬大学教授）、菅生千穂氏（クラリネット奏者・群馬大学准教授）	展示室 1	172



スモール・ライブ・セッション 「音のスケッチ 彫刻をみる / 音楽をみる」

## G. 他団体への協力

### 1. 演劇公演への特別協力

太田市を拠点に活動する劇団、演劇／微熱少年の滞在制作および公演への会場協力を行った。また、「たてび×えんびリーディングシアター」として朗読劇も開催した。

開催日	名称	出演者	会場	参加者数
5.21	朗読劇「エレジー・父の夢は舞う」	萩原朔美、鄭亜美、林健樹、川田夏実、大竹直 (原作：清水邦夫、演出：加藤真史)	講堂	79
5.23-6.4 (5/9より滞在制作)	演劇／微熱少年『すべて重力のせいだ』 ※1 演劇／微熱少年『構造なり力なり』 ※2	※1 大竹直、加藤亮佑、酒巻誉 洋、村山朋果 ※2 小池舞、久保田雅彦、小川 朋珠、芦塚諒洋 (※1、2とも演出：加藤真史)	ワークショップ室	159



朗読劇「エレジー・父の夢は舞う」



演劇／微熱少年『すべて重力のせいだ』



演劇／微熱少年『構造なり力なり』



演劇／微熱少年『構造なり力なり』

## H. 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れており、当館独自の鑑賞プログラム「たてび☆スクールプログラム」を作成し、見学の受け入れや訪問鑑賞授業を積極的に行っている。また、美術館の活用法を紹介する教職員向けのセミナーを開催したり、例年近隣の芸術科を有する群馬県立西邑楽高校や群馬県立女子大学との連携したイベントを開催したりしている。一般団体においては、解説を希望する団体に、観覧前の概要説明や学芸員による解説を行っている。

### 1. 学校との連携事業

#### (1) 連携授業等

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
5.31	美術館見学	群馬県立西邑楽高校	鎌田・松下	講堂・展示室・別館	21
6.6	美術館見学	群馬県立高等特別支援学校	鎌田	研修室・展示室・別館	11
6.10	美術館見学	板倉町立板倉中学校美術部	鎌田・斎藤	講堂・研修室・展示室・別館	16
6.15	訪問鑑賞授業	桐生市立川内小学校 1年生	鎌田・羽鳥	桐生市立川内小学校	41
6.24	美術館見学	群馬大学共同教育学部	鎌田	研修室・展示室・別館	5
7.5	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校 1年生	鎌田・羽鳥	館林市立第一小学校	96
7.15	美術館見学	群馬大学・宇都宮大学共同教育学部	鎌田	研修室・展示室・別館	17
7.19	訪問鑑賞授業	館林市立第四小学校 1・2年生	鎌田・竹渕	館林市立第四小学校	21
7.19	訪問鑑賞授業	館林市立第四小学校 3・4年生	鎌田・竹渕	館林市立第四小学校	24
7.19	訪問鑑賞授業	館林市立第四小学校 5・6年生	鎌田・竹渕	館林市立第四小学校	19
7.25	美術館見学・絵画教室	館林市立第九小学校 1年生家庭学級（渡瀬公民館）	鎌田・斎藤	館林市立第九小学校	33
8.17	美術館見学（みんなのアトリエ参加）	太田市立東中学校美術部	鎌田・斎藤	ワークショップ室	10
9.5	美術館見学	榛東村立南小学校 5年生	鎌田・斎藤・竹渕	講堂・展示室・別館	69
9.8	美術館見学	桐生市立梅田南小学校 5年生	鎌田・伊羅子	講堂・展示室・別館	21
9.13	美術館見学	群馬県立西邑楽高校	鎌田・熊谷	講堂・展示室・別館	16
9.15	美術館見学	常総市立菅原小学校 5年生	鎌田	講堂・展示室・別館	23
10.4	職場体験打合せ	館林市立第四中学校 2年生	鎌田	会議室	3
10.11	美術館見学	群馬県立西邑楽高校	鎌田・伊藤	講堂・展示室・別館	18
10.12	美術館見学	邑楽町立高島小学校 3年生	鎌田・斎藤・竹渕	講堂・展示室・別館	46
10.18	職場体験	館林市立第四中学校 2年生	鎌田	会議室ほか	4
10.19	職場体験	館林市立第四中学校 2年生	鎌田	会議室ほか	4
10.29	美術館見学	群馬県立太田フレックス高校通信制	鎌田	講堂・展示室・別館	88

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
10.31	美術館見学	館林市立第一中学校 1 年生	鎌田	研修室・展示室・別館	2
11.1	美術館見学	高崎市立中川小学校 5 年生	鎌田・羽鳥・伊羅子	講堂・展示室・別館	77
11.2	美術館見学	羽生市立川俣小学校 5 年生(ゆい 鎌田 教育旅行社)		展示室・別館	19
11.2	美術館見学	佐野市春龍幼稚園年長	坂爪	展示室・別館	40
11.7	美術館見学	桐生市立相生小学校 5 年生	鎌田・斎藤・竹渕	講堂・展示室・別館	53
11.10	美術館見学	館林市立第八小学校 2 年生	鎌田・羽鳥・伊羅子	講堂・展示室・別館	79
11.12	美術館見学	群馬県立桐生高校通信制	鎌田	講堂・展示室・別館	80
11.16	美術館見学	館林市教育研究所(適応指導教室)	鎌田	展示室・別館	9
11.16	美術館見学	吉見町立西が丘小学校 5 年生	鎌田	講堂・展示室・別館	16
11.16	美術館見学	桐生市立東小学校 5 年生	鎌田・斎藤・竹渕	講堂・展示室・別館	33
11.16	美術館見学	佐野市春龍幼稚園年少	坂爪	展示室・別館	42
11.22	訪問鑑賞授業	太田市立木崎小学校 6 年生	鎌田・羽鳥	太田市立木崎小学校	95
11.30	美術館見学	館林市立第五小学校特別支援学級	鎌田	講堂・展示室・別館	14
11.30	美術館見学	佐野市春龍幼稚園年中	坂爪	展示室・別館	55
12.1	訪問鑑賞授業	館林市立第八小学校 6 年生	鎌田・羽鳥	館林市立第八小学校	99
12.6	美術館見学	館林市立第九小学校 5 年生	鎌田	講堂・展示室・別館	40
12.6	美術館見学	佐野市洗心幼稚園	坂爪	展示室・別館	66
12.7	美術館見学	館林市立第八小学校 5 年生	鎌田・羽鳥・伊羅子	講堂・展示室・別館	76
12.13	訪問鑑賞授業	太田市立生品小学校 3 年生	鎌田・羽鳥	太田市立生品小学校	80
12.14	美術館見学	館林市立第八小学校 3 年生	鎌田・羽鳥・伊羅子	講堂・展示室・別館	79
12.15	訪問鑑賞授業	明和町立明和西小学校 4 年生	鎌田・羽鳥	明和町立明和西小学校	65
12.15	美術館見学	邑楽町教育研究所(適応指導教室)	坂爪	展示室・別館	3
12.15	美術館見学	群馬県立高等特別支援学校 3 年生	坂爪	展示室・別館	35
12.20	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校 2 年生	鎌田・竹渕	館林市立第一小学校	94
1.11	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校 1 年生	鎌田・羽鳥	館林市立第二小学校	50
1.12	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校 5 年生	鎌田・羽鳥	館林市立第二小学校	59
1.16	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校 3 年生	鎌田・竹渕	館林市立第二小学校	37
1.16	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校 6 年生	鎌田・竹渕	館林市立第二小学校	53
1.17	訪問鑑賞授業	板倉町立東小学校 4 年生	鎌田・竹渕	板倉町立東小学校	40
1.18	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校 4 年生	鎌田・羽鳥	館林市立第二小学校	51
2.1	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校 2 年生	鎌田・羽鳥	館林市立第二小学校	57

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
2.7	訪問鑑賞授業	館林市立第二中学校 1年生	鎌田	館林市立第二中学校	93
2.15	訪問鑑賞授業	前橋市立新田小学校 2・4年生	鎌田・羽鳥	前橋市立新田小学校	134
2.21	訪問鑑賞授業	前橋市立新田小学校 2・6年生	鎌田・羽鳥	前橋市立新田小学校	125
3.6	訪問鑑賞授業	桐生市立神明小学校 1年生	鎌田・羽鳥	桐生市立神明小学校	38
3.6	訪問鑑賞授業	桐生市立神明小学校 2年生	鎌田・羽鳥	桐生市立神明小学校	47
3.6	美術館見学	群馬県立高等特別支援学校1年生	坂爪	展示室・別館	34
3.12	美術館見学	太田市立木崎小学校 6年生	鎌田・斎藤・竹渕	講堂・展示室・別館	97



学校訪問授業「鑑賞授業」



学校訪問授業「アートカード」



美術館見学1



美術館見学2

(2) 主任会、研修会の実施、参加

開催日	名称	学校名、組織名	担当	会場	参加者数
4.11	館林市中学校美術主任会		鎌田	館林市立第一中学校	7
5.12	館林市小団主任・中美主任会		鎌田	研修室・展示室	20
5.18	下見・打合せ	群馬県立館林高等特別支援学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	1
6.20	邑楽郡小学校図工主任会		鎌田	研修室・展示室・別館	16
7.26	下見・打合せ	高崎市立中川小学校	鎌田	エントランス・展示室	1
7.28	下見・打合せ	群馬県立桐生高等学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	1
8.4	下見・打合せ	桐生市立相生小学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	3
8.4	下見・打合せ	太田市立太田小学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	2
8.8	下見・打合せ	館林市立第八小学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	1
8.8	邑楽郡中学校実技研修会		鎌田	研修室・展示室・別館	10
8.24	邑楽郡小学校実技研修会		鎌田・野澤	研修室・展示室・別館	23
8.24	下見・打合せ	館林市立第八小学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	1
8.25	下見・打合せ	太田市立宝泉小学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	3
8.26	鑑賞授業相談	茨城県境町立第二中学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	1
9.1	下見・打合せ	群馬県立太田フレックス高校	鎌田	エントランス・展示室・別館	4
10.10	邑楽郡中学校主任会	邑楽町立邑楽南中学校	鎌田	邑楽町立邑楽南中学校	10
10.16	館林市小団主任・中美主任会	館林市立第二中学校	鎌田	館林市立第二中学校	20
11.4	下見・打合せ	桐生市立東小学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	1
11.8	邑楽郡小学校図工主任会		鎌田	講堂・研修室・展示室・別館	16
11.14	下見・打合せ	吉見町立西が丘小学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	1
11.21	下見・打合せ	群馬県立館林高等特別支援学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	1
11.29	邑楽郡小・中学校司書部会		鎌田	研修室・展示室・別館	16
12.9	鑑賞授業相談	茨城県境町立第二中学校	鎌田	エントランス・展示室・別館	1
12.26	訪問鑑賞授業打合せ	館林市立第二中学校	鎌田	館林市立第二中学校	1
1.12	館林市小団主任会		鎌田	研修室	13
2.28	下見・打合せ	群馬県立館林高等特別支援学校	鎌田・坂爪	エントランス・展示室・別館	1

### (3) 「先生のための美術館サマーセミナー」の開催

学校の夏季休業期間中に、教職員を対象とした「先生のための美術館サマーセミナー」を開催した。本事業は、教職員が美術館をもつと身近なものとしてとらえ、学校の授業や行事の中に気軽に取り入れ、活用していく様に企画したものである。「たてび☆スクールプログラム」について、利用例をスライドで紹介したり、ワークシートを使った鑑賞やアートカードゲームなどを実際に体験していただいたりした。

開催日	名称	担当	会場	参加者数
8.9	先生のための美術館サマーセミナー	鎌田	研修室・展示室1	2



先生のためのサマーセミナー

## 2. 群馬県立西邑楽高等学校との連携事業

### (1) 高校生による夏休み宿題相談室

群馬県立西邑楽高等学校の芸術科美術コースの生徒が、小中学生に絵やポスターなど夏休みの課題についてアドバイスをするワークショップを2日間に分けて実施した。参加者は、高校生からのアドバイスをもとに、熱心に制作に励んでいた。また、高校生たちは、小中学生との交流を通して、教えることの難しさを感じながらもふれあいを楽しみながら活動していた。

開催日	名称	会場	参加者数
8.1	高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	12
8.2	高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	11



高校生による夏休み宿題相談室

### 3. 群馬県立女子大学との連携事業

群馬県立女子大学奥西ゼミと連携して、夏休み期間中の子どもたちを主な対象としたワークショップを企画した。今回は、企画展示「佐藤健寿展 奇界／世界」にちなみ、紙袋や紙皿を使って、かぶりもの、仮面を制作した。子どもから大人まで、造形の世界を楽しむことができた。

開催日	名称	会場	参加者数
8.19	「きみような仮面舞踏会♪」	ワークショップ室	47



きみのような仮面舞踏会♪

### 4. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数										1			1
人数										18			18

## I. 地域に開かれた美術館づくり

館林美術館の施設と機能を活かして、地区小学生の健全育成、芸術創作活動の振興、美術鑑賞力の向上を図るとともに、地域に開かれた美術館づくりを推進するために、館林が生んだ木版画家である藤牧義夫にちなみ、館林市及び邑楽郡5町の各市町及び各市町教育委員会の協力を得て、「第15回 藤牧義夫記念館林邑楽地区小学生木版画展」を開催した。会場は講堂を使用し、参加小学校全25校を一週間6会期に分けて展示した。参加児童は1,357名で、31日間の全会期中に、合計2,979人が観覧した。

会期	開催期間	参加校	入室者数
第1期	7/15～7/20	大泉町立西小学校、大泉町立東小学校、千代田町立西小学校、千代田町立東小学校	457
第2期	7/22～7/27	邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校	531
第3期	7/29～8/3	館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校	392
第4期	8/5～8/10	館林市立第五小学校、館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校、館林市立第九小学校	467
第5期	8/12～8/17	館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校、板倉町立西小学校	723
第6期	8/19～8/24	明和町立明和東小学校、明和町立明和西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校	409



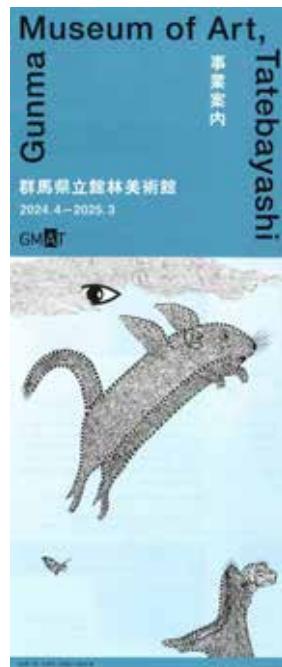
ポスター



展示会場

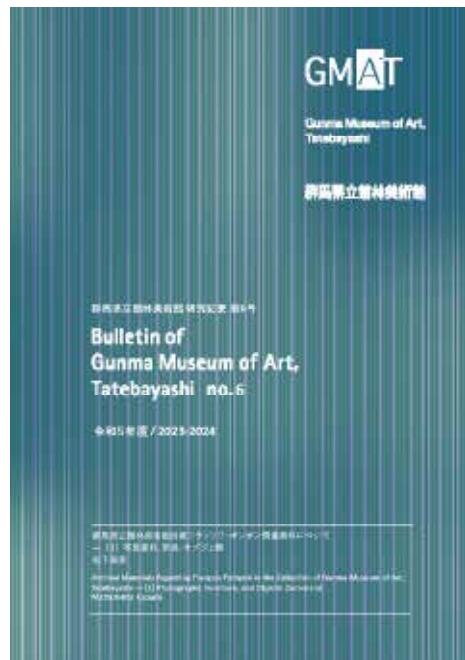
◎群馬県立館林美術館 令和6年度事業案内

B4判変形4つ折り  
令和6年3月発行  
発行部数 20,000部



◎群馬県立館林美術館 研究紀要 第6号

A4判 66頁  
令和6年3月  
当館公式ホームページに掲載  
内容：  
松下和美 「群馬県立館林美術館所蔵 フランソワ・ボンボン関連資料について – (1) 写真資料、家具・オブジェ類」



## K. ボランティア

年間登録制のボランティア、「たてび★サポートー」は、主にワークショップの制作サポート、「たてび☆キッズウォーク」の受付サポート、館内の資料整理等の活動を行っている。活動に合わせて必要な研修会を随時開催して美術館スタッフやサポートー同士のコミュニケーションを図りつつ、円滑な美術館の普及活動に貢献している。募集は通年で行い、今年度の登録数は 58 名である。今年度から新規の活動として、広報作業のサポートが加わった。また、企画展「ヒューマンビーイング展」の関連事業として、視覚に障害がある方との鑑賞イベントを開催し、彫刻家・三輪途道氏の協力を得ながら 2 回の研修を行った後、イベントの案内役として活躍した。

\* 「ヒューマンビーイング展」での特別イベント

期日	名称	人数
4.22、7.6、12.2、1.28	研修会等	81
7.20、7.27、8.10、8.17	「みんなのアトリエ」制作サポート	52
5.27、6.24、7.22、8.26、11.4、12.9、2.10、3.9	「たてび☆キッズウォーク」サポート	35
6.10、11.23、2.24	「たてび☆びじゅつ部」制作サポート	28
5.11、5.25、6.8、6.22、10.12、10.26、11.16	資料整理	55
11.30、2.8、2.22、3.7、3.21		
6.13～16、9.3、9.5～7、12.5～7、3.12～15	広報作業	74
2.4、2.18、3.2、3.16	* 触っておしゃべり鑑賞タイム	23
2.17	* ワークショップ「見えない人、見えにくい人、見える人が一緒に作品鑑賞」	16

## L. 友の会（群馬県立館林美術館友の会）

### 1. 運営会議

- (1) 総会 (6.14)
- (2) 理事会 (6.14)
- (3) 運営委員会 (4回開催 5.17 6.14 8.30 11.29)  
事業の企画運営等具体的な事項の協議

### 2. 美術館協力支援事業

- (1) ミュージアムショップの運営  
展覧会商品、図録、オリジナル商品、書籍その他の展示販売を通して来館者へのサービス向上に努めた。
- (2) 美術館への協力  
ミュージアムショップの利益から笹岡啓子写真 8 点、ヒューマンビーイング景品等を寄贈した。

### 3. 会員対象事業

- (1) 美術館情報の提供 (年 7 回 5.12、7.4、7.12、9.22、12.22、1.10、3.29)  
展覧会や美術講座等の広報資料や、友の会からのお知らせ等を随時会員宛に送付した。
- (2) コンサートの開催 (11.10 2.16)  
オータムコンサート 11 月 10 日 演奏者：滝沢昌之（フルート）、市川美樹子（フルート）参加者 80 名  
ニューイヤーコンサート 2 月 16 日 演奏者：布施奈緒子（メゾソプラノ）飯野景子（ピアノ）参加者 102 名
- (3) ミュージアム・ツアーや開催 (9.28)  
美術館訪問を通じて美術鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者 34 名  
訪問先 軽井沢千住博美術館・軽井沢現代美術館
- (4) 特別館長レクチャー (3.3)  
「型染め 江戸小紋と長板中形」 参加者 26 名
- (5) アンケート事業 (7.4)  
友の会の事業運営に役立てるため、DMにてアンケート用紙を配布し意見・要望を募った。

## M. その他

◎主要関連記事（コレクション展示・彫刻家のアトリエ・教育普及事業・その他）  
(長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略)

### [新聞等]

- ・上毛新聞

5.29

「ポンポンの彫刻 觸って楽しもう 県立館林美術館」＊〈ぶんか  
通信〉

6.20

「県立館林美術館 ポンポンの彫刻作品世界間近に」＊〈東毛〉

7.24

「ポンポン作品紹介ツアー 来月と10月館林美術館」＊〈ぶん  
か通信〉

11.26

「美術館に行こう！お気に入りの作品見つけて」＊

12.25

「回顧 2023 展示や解説 熱氣戻る」＊〈文化〉

2.22

「新田小 芸術鑑賞し 豊かな心を 県立近美・館美が出張授業」  
＊〈地域〉

3.19

「イチゴ狩りして 美術館に周遊を 来月 7日まで」＊

### [定期刊行物]

- ・アートであそぶ、アートでまなぶ情報誌『パレット』

第 20 号 2023 autumn

「「いきもの」たちの姿に心が解放される場所 群馬県立館林美  
術館 群馬県館林市」＊

- ・まま・ここつと

2023 秋号 vol.54

「たてび☆キッズウォーク」〈FAMILY EVENT〉

### [書籍等]

- ・奥野武範「群馬県立館林美術館」『群馬県立館林美術館常  
設展に行こう！』株式会社左右社、2023 年

・「群馬県立館林美術館」「日本の近現代建築家たち 文化庁  
国立近現代建築資料館〔NAMA〕10周年記念アーカイブズ特  
別展」図録、文化庁、2023 年

・後藤さおり「群馬県立館林美術館」『日本のミュージアムを旅  
する』株式会社天夢人、2024 年

・山下裕二「山口晃『深山寺参詣圖』群馬県立館林美術館」『日  
本美術・この一点への旅』集英社、2023 年

# 所蔵資料

## A. 美術作品

### 1. 作品収蔵状況 令和6年3月31日現在

作家区分 収蔵方法 部門	県内作家			国内作家			外国作家			総計
	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
日本画	4	9	13	1	1	2	0	0	0	15
油彩その他	8	2	10	18	21	39	6	1	7	56
水彩・素描	10	6	16	3	5	8	8	6	14	38
版画	22	0	22	289	599	888	52	0	52	962
写真・映像	0	0	0	60	10	70	12	0	12	82
彫刻	5	8	13	4	5	9	125	1	126	148
染織・工芸	5	3	8	3	0	3	4	1	5	16
計	54	28	82	378	641	1019	207	9	216	1317

### 2. 収蔵品

令和5年度においては、版画2点（寄贈2点）、写真・映像2点（寄贈2点）を新たに収蔵した。

以下、部門ごとに作者名50音順に配列している。各作品データは次の順に記す。

- ・作者名（生没年）
- ・作品名
- ・制作年（日本人作家の場合は元号も付す）
- ・技法・材質（・形状）
- ・寸法（平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行、単位はcm）
- ・サイン、年記、その他の記載事項
- ・初発表展覧会および受賞記録
- ・収蔵方法（寄贈の場合は寄贈者名を表記）
- ・受入番号

〈版画〉

山中 現 (1954～)

YAMANAKA Gen

F 氏のために 黒

For Mr.F Black

2023 (令和 5) 年

木版・紙

15.6 × 10.7

左下に Ed.、作品名：「A.P 1/3」「F 氏のために 黒」／

右下に年記、サイン：「2023」「gen yamanaka」

2023 年 「山中現展 描かれた詩」群馬県立館林美術館

作者寄贈

1316



山中 現 (1954～)

YAMANAKA Gen

F 氏のために 青

For Mr.F Blue

2023 (令和 5) 年

木版・紙

15.7 × 10.9

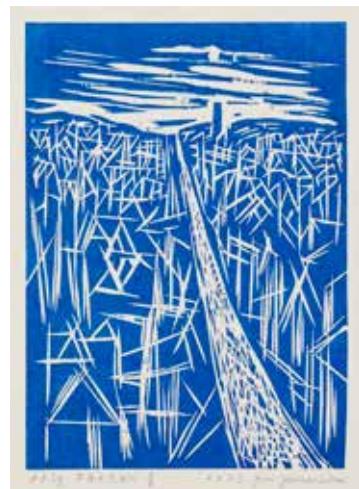
左下に Ed.、作品名：「A.P 1/3」「F 氏のために 青」／

右下に年記、サイン：「2023」「gen yamanaka」

2023 年 「山中現展 描かれた詩」群馬県立館林美術館

作者寄贈

1317



〈写真・映像〉

シンゴ・ヨシダ (1974～)

YOSHIDA Shingo

見えない旅路

Invisible Trajectory

2013 年

ラムダプリント・紙 (22 点)

[1～16] 70.0 × 47.0

[17～22] 33.0 × 50.0

証明書に、作者名、作品名、制作年、エディション：[1～16]

各 No.1 (7 点+アーティストプルーフ 2 点のうち)、[17～22] 各

No.1 (10 点+アーティストプルーフ 2 点のうち)、日付「2023 年 6

月 1 日」、サイン：「Shingo Yoshida」

群馬県立館林美術館友の会寄贈

1315



[1]



[2]



[3]



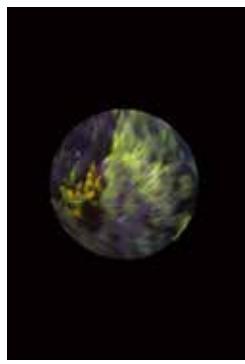
[4]



[5]



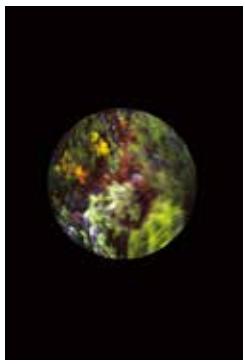
[6]



[7]



[8]



[9]



[10]



[11]



[12]



[13]



[14]



[15]



[16]



[17]



[18]



[19]



[20]

左画像出典：横浜市民ギャラリー  
あざみ野『平成 25 年度横浜市所  
蔵カメラ・写真コレクション展 戦  
争とカメラ』2014 年  
Yokohama Civic Art Gallery  
Azamino, War and Camera, 2014



[21]



[22]

シンゴ・ヨシダ (1974 ~)

YOSHIDA Shingo

見えない旅路

Invisible Trajectory

2013 年

映像 (13 分 44 秒)

証明書に、作者名、作品名、制作年、作品タイプ (HD からの  
アップスケール 4k 動画)、時間、予備データ情報、アスペクト比、  
展示指示、エディション：No.1 (5 点+アーティストプレーフ 2 点  
のうち)、日付「2023 年 6 月 1 日」、サイン：「Shingo Yoshida」

2013 年「オリヴィエ・ビール/シンゴ・ヨシダ」(2 人展) ニース国  
立現代美術センター「ヴィラ・アルソン」、フランス

群馬県立館林美術館友の会寄贈

1314



### 3. 令和5年度寄託作品

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横／高さ×幅×奥行き cm）		
藤牧義夫	高根山の松	1935	水彩・紙	28.8	×	23.6
藤牧義夫	(デザイン画)		水彩・紙	28.8	×	23.7
藤牧義夫	達磨	1933	木版・紙	18.2	×	21.3
藤牧義夫	(静物 3・香爐)		鉛筆・紙	23.4	×	28.8
藤牧義夫	(風景 3・ガスタンク)		水彩・紙	23.5	×	31.0
藤牧義夫	(男体山)		水彩・紙			
藤牧義夫	(《給油所》印刷物)					
新井一男	高根山より大小山を望む景		水彩・紙	23.5	×	28.8
藤牧義夫	井の頭風景	1934	木版・紙	14.8	×	16.9
藤牧義夫	鶴の間の池	1935	水彩・紙	21.0	×	18.0
藤牧義夫	(サボテン)	1934	水彩・墨・紙	21.0	×	18.0
藤牧義夫	谷馬川の景	1935	水彩・紙	23.4	×	28.8
藤牧義夫	(風景 1・とがつた木)		水彩・紙	23.5	×	31.2
藤牧義夫	(《給油所》印刷物)					
新井一男・藤牧義夫	(静物 4・ろうそく)		水彩・紙	23.6	×	28.8
新井一男	邑楽郡のある村を流るゝ谷場川	1930	水彩・紙	23.5	×	28.8
藤牧義夫	(静物 1・りんご)		水彩・紙	23.6	×	28.8
藤牧義夫	(静物 2・ろうそく)		水彩・紙	23.6	×	28.8
藤牧義夫	(風景 2・丸い木)		水彩・紙	24.8	×	28.8
藤牧義夫	尾曳見晴し	1934	水彩・紙	21.2	×	18.0
新井一男・藤牧義夫	(静物 5・あさがお)		水彩・紙	28.6	×	23.6
清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.1	×	16.6
清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.6	×	18.7
清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2	×	14.4
清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.0	×	21.4
清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.7	×	22.2
清宮質文	夏の終り	1967	木版・紙	10.4	×	22.3
清宮質文	歳月	1970	木版・紙	18.3	×	25.8
清宮質文	夕日に(入日の空に)	1970 年代	水彩・紙	12.9	×	10.6
清宮質文	窓のランタン	1972	木版・紙	24.4	×	14.2
清宮質文	星占(去りゆく凶星)	1975	木版・紙	15.2	×	17.9
清宮質文	作品	1981	水彩・紙	9.8	×	16.1
清宮質文	われむかしの日いにしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.1	×	13.0
清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	13.9	×	17.5
清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.7	×	6.9
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	21.2	×	16.2
清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	11.0	×	23.4
清宮質文	なんじの革囊にわが涙を	1985	木版・紙	17.8	×	16.8
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.9	×	16.0
清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8	×	7.0
清宮質文	月と運河(試作)	1987	木版・紙	16.3	×	16.5

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横／高さ×幅×奥行き cm）		
清宮質文	冬の夕（絶筆）	1991	ガラス絵	12.3	×	16.2
中平四郎	讀賣	1924	木彫	60.0	×	34.0 × 25.0
長重之	視床～青	1995	木、布、アクリル	100.0	×	162.0 × 7.0
長重之	視床	2010	水彩、コラージュ・紙	92.5	×	116.0
山口啓介	花の心臓 / 炭素原子モデル	2003	顔料、樹脂、自家製樹脂、アクリル・カンヴァス	270.0	×	181.0
山口啓介	花の心臓 / 茜柱	2003	油彩・カンヴァス	270.0	×	181.0
山口啓介	疑似王台	1998	膠、顔料、シルクスクリーン、布、木	197.0	×	250.0
大森暁生	Swan in the frame (Type-A)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、アガチス、銅	70.0	×	130.0 × 67.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 1	不詳	樹皮、木、イノシシの骨	130.0	×	146.0 × 6.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 4	不詳	樹皮、木	110.0	×	147.0 × 15.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 5	不詳	樹皮、木	135.0	×	65.0 × 7.0
スタン・アンダソン	犬の散歩道－暮坂高原古道再生プロジェクト（部分）	2015	樹皮	180.0	×	290.0 × 25.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品（六合の地図）	不詳	樹皮			
スタン・アンダソン	立体作品	不詳	樹皮、木、動物の骨	186.0	×	136.0 × 100.0
スタン・アンダソン	動物の絵柄の紙漉き作品 14 点	不詳	樹皮、貝殻			直径 約 30
スタン・アンダソン	ドローイング 1	不詳	パステル・紙	54.0	×	40.0
スタン・アンダソン	ドローイング 2	不詳	パステル・紙	54.0	×	40.0
スタン・アンダソン	ドローイング 3	不詳	パステル・紙	79.0	×	109.0
スタン・アンダソン	ドローイング 4	不詳	墨・紙	79.0	×	109.0
スタン・アンダソン	ドローイング（11 点）	不詳	鉛筆・紙	30.0	×	23.0
スタン・アンダソン	書籍(21 冊)					
	鹿島茂コレクション フランス絵本(353 件)					
	鹿島茂コレクション フランス絵本(7 件)					
渡辺香奈	The River	2012	油彩・カンヴァス	194.0	×	1042.4
黒川弘毅	Benne Bird No.9	1984	ブロンズ	33.0	×	79.5 × 40.5
黒川弘毅	Moon Fish No.2	1986-1987	ブロンズ	50.0	×	140.0 × 45.0
黒川弘毅	Benne Bird No.11	1990-1991	ブロンズ	63.0	×	36.0 × 32.0
亀山知英	Hi-To-m 2020-I	2020	木（館林市内廃建材）、アクリルグワッシュ	123.5	×	33.7 × 18.3
亀山知英	Hi-To-m 2020-IV	2020	木（館林市内廃建材）、アクリルグワッシュ	103.5	×	41.0 × 21.0
亀山知英	Hi-To-g 2023	2023	木（館林市内廃建材）、アクリルグワッシュ	185.0	×	46.5 × 46.5
掛井五郎	人間の問題研究 III 四つの足	1985	ブロンズ	100.0	×	96.0 × 30.0
岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレススチール、カンヴァス、合板	183.0	×	200.0 × 398.0
三輪途道	YUUKO	1996-2004	檜、漆、膠、白土、顔料	153.0	×	48.0 × 25.0
三輪途道	野辺の王様	1998	檜、漆、膠、白土、顔料	125.0	×	32.0 × 40.0
三輪途道	温度－H.MIWA－	1999	檜、漆、膠、白土、顔料	99.0	×	57.0 × 37.0
三輪途道	縄文からの道	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	12.0	×	25.0 × 16.0
三輪途道	TOKYO-2000.1.12.Age60-	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	102.0	×	50.0 × 28.0
三輪途道	猿を待つてた日	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	23.0	×	16.5 × 23.0
三輪途道	下仁田一おじい	2003	檜、漆、膠、顔料	79.0	×	59.0 × 64.0
三輪途道	下仁田一おばあ	2003	檜、漆、膠、顔料	83.0	×	50.0 × 56.0

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横／高さ×幅×奥行き cm）			
三輪途道	おじいの宝Ⅱ（金歯の位置違い）	2003	檜、漆、金箔	3.0	×	7.5	×
三輪途道	おじいの抜け殻	2003	檜、漆、膠、顔料	14.0	×	44.0	×
三輪途道	猫の抜け道	2005	檜、漆、膠、顔料	25.0	×	68.0	×
三輪途道	発電所のなめくじ	2005	檜、漆、膠、白土、顔料	4.0	×	6.0	×
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	5.0	×	8.0	×
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	6.0	×	9.0	×
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	13.0	×	10.0	×
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	13.0	×	10.0	×
三輪途道	父子像	2007	檜、漆、膠、顔料	175.0	×	42.0	×
三輪途道	乳母と私Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	90.0	×	58.0	×
三輪途道	父子像Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	159.0	×	99.0	×
アルブレヒト・デューラー	書斎の聖ヒエロニムス	1514	エングレーヴィング・紙	24.4	×	18.8	
アンディ・デンツラー	Sant Francesc III	2018	油彩・カンヴァス	140.0	×	120.0	
アンディ・デンツラー	At a Stranger's table	2018	油彩・カンヴァス	80.0	×	70.0	
会田誠	トラウマンボーア 02	2007	パネル、色鉛筆、水彩絵具、油性マーカー・紙	36.5	×	51.5	
会田誠&加藤愛	愛ちゃん盆栽（ほおづき）小料理屋にて	2008	ラムダプリント	86.8	×	125.0	
梅沢和木	BLACK OMEN and CloudSBX	2020	画像を出力した光沢紙、アクリル、油彩・カンヴァス	126.0	×	126.0	
梅沢和木	Imperishable Windows	2020	画像を出力した光沢紙、アクリル、油彩・カンヴァス	126.0	×	126.0	
梅沢和木	R20	2020	画像を出力した光沢紙、アクリル、油彩・カンヴァス	21.0	×	29.7	
梅沢和木	BGS 矩形俱楽部	2019	画像を出力した光沢紙、アクリル、ペン、色鉛筆・カンヴァス	42.0	×	59.4	
梅沢和木	マジエスティック・ハザード	2012	画像を出力した光沢紙・カンヴァス	72.8	×	51.5	
梅沢和木	plan888	2021	紫外線硬化樹脂（StareReap 2.5 プリント）に アクリル	55.5	×	55.5	
梅沢和木	perfectD	2021	紫外線硬化樹脂（StareReap 2.5 プリント）に アクリル	55.5	×	55.5	
梅沢和木	Happy Material	2021	紫外線硬化樹脂（StareReap 2.5 プリント）に アクリル	55.5	×	55.5	
梅沢和木	A	2021	画像を出力した光沢紙、アクリル・パネル	126.0	×	194.0	
大竹利絵子	へび	2006	木	31.0	×	21.5	×
加藤泉	無題	2000	油彩・カンヴァス	40.7	×	24.0	
加藤泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	33.3	×	24.0	
加藤泉	Untitled	2017	ソフトビニール、金属	60.0	×	17.0	×
川島秀明	stare	2008	アクリル・カンヴァス	50.0	×	72.7	
カソノサカソ	無題	2007	ウレタン、アクリル・パネルに貼られたカンヴァス	30.0	×	30.0	
KYNE	Untitled	2020	アクリル、ABS レジン	32.0	×	80.0	×
熊谷守一	裸	1948	油彩・板	23.8	×	33.2	
コバヤシ麻衣子	You Know The Answer	2021	アクリル絵具・和紙、カンヴァス	130.3	×	130.3	
コバヤシ麻衣子	そこからいる	2021	アクリル絵具・和紙、カンヴァス	145.5	×	112.0	
コバヤシ麻衣子	グッドラック	2021	アクリル絵具・和紙、カンヴァス	100.0	×	65.2	
コバヤシ麻衣子	Foolish honesty	2022	アクリル絵具、オイルパステル・和紙、カンヴァス	80.3	×	53.0	
阪本トクロウ	バード	2007	アクリルガッシュ・雲肌麻紙	40.6	×	40.6	

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横×高さ×幅×奥行き cm）		
田中敦子	Work	2004	パステル・紙	33.2	×	24.3
田中敦子	作品	2001	エナメル・紙・カンヴァス	15.0	×	15.0
田中敦子	作品	2002	合成エナメル塗料・カンヴァス	60.2	×	50.1
Chim ↑ Pom	イケてる人達みたい 02	2008	C-Print、DVD	31.0	×	31.0
奈良美智	Untitled	1990	アクリル・紙	49.3	×	34.2
西尾康之	stand up	1997	陰刻鋳造、ファイバープラスター	77.5	×	36.0 × 12.0
日野之彦	パーク	2007	鉛筆・ケント紙、額装	103.5	×	72.5
日野之彦	縞の服	2008	鉛筆・紙、額装	101.6	×	50.4
日野之彦	二人は走る	2010	油彩・カンヴァス	259.1	×	193.9
日野之彦	見つめ合い	2011	油彩・カンヴァス	91.0	×	91.0
日野之彦	涼しい風	2018	色鉛筆、紙	43.3	×	34.2
日野之彦	曇り空	2018	色鉛筆、紙	50.4	×	66.7
町田久美	ひとり	2003	墨・雲肌麻紙	130.0	×	97.0
松井冬子	同世代のエジプト人	2007	ドローイング、額装	43.7	×	36.7
松井冬子	トメス 4 世	2007	ドローイング、額装	36.2	×	44.1
ロッカクアヤコ	Untitled	2014	アクリル・段ボール	63.0	×	63.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2016	アクリル・段ボール	53.0	×	40.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2017	アクリル・カンヴァス	80.0	×	80.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2017	アクリル・カンヴァス	140.0	×	100.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2018	アクリル・スツール	47.0	×	71.0 × 18.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2019	アクリル・カンヴァス	100.0	×	100.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2021	陶器	39.0	×	13.8 × 28.7
西村盛雄	甘露の雨 マナ 9	2002	木	37.0	×	220.0 × 220.0
勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0	×	184.0 × 57.0
勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0	×	65.0 × 54.0
勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5	×	62.5 × 30.0
勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0	×	33.0 × 32.5
勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5	×	64.5 × 50.0
勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0	×	49.0 × 25.0
勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0	×	53.0 × 48.0
坂本幸重	鮓	2003	紙本着色・額装	60.0	×	100.0
林茂樹	00-XVIII	2017	磁器	40.0	×	80.0 × 38.0
長重之	笑い続ける二つの州の間で	1990	断熱材、布、木、アクリル	242.0	×	170.0 × 11.5
長重之	笑い続ける二つの州の間で	1990	断熱材、布、木、アクリル	200.0	×	146.0 × 11.5
ボスコ・ソディ	Untitled	2016	ミクストメディア・カンヴァス	200.0	×	200.0
伊藤博敏	ZIP STONE Metal Age	2013	自然石、ファスナー、ステンレス球	12.0	×	13.0 × 7.5
大坂秩加	あなたに縁起のいい門出を	2010	リトグラフ・紙	25.0	×	16.0
大坂秩加	ちょっと高い合コン	2011	アクリル、水彩、色鉛筆・麻布	70.0	×	50.0
大坂秩加	カップヌードルする	2012	アクリル、水彩、色鉛筆、白堺地・麻布	120.0	×	90.0
上根拓馬	27 ガーディアンズ 大弁功德天	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	15.0	×	15.0 × 30.0
上根拓馬	28 ガーディアンズ 那羅延堅固	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	15.0	×	15.0 × 30.0
上根拓馬	28 ガーディアンズ 那羅延堅固	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	25.0	×	25.0 × 55.0
上根拓馬	28 ガーディアンズ 密遮金剛力士	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	25.0	×	25.0 × 55.0
上根拓馬	12 ガーディアンズ no.2 伐折羅大将	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	15.0	×	15.0 × 30.0

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横／高さ×幅×奥行き cm）			
上根拓馬	12 ガーディアンズ the Devas no.7 麟沙門天	2013	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	25.0	×	25.0	×
白石綾子	room of womb	2010	アクリル、油彩・パネル	120.0	×	120.0	
樽谷タカシ	妖怪力車	2011	アクリル、金箔・木製パネル	33.3	×	53.1	
中井章人	引きずりの観測	2010	ミクストメディア	11.0	×	11.0	×
にしらあづさ	グレタ	2010	油彩・コットンクロスパネル	41.0	×	31.8	
にしらあづさ	あの子と逸れた	2011	油彩・コットンクロスパネル	162.1	×	112.1	
町田久美	招き猫	不詳	ミクストメディア	7.5	×	8.5	×
町田久美	らんちゅうタクシー	1998	スクリーンプリント・紙	87.0	×	42.7	
町田久美	“Das rote Kostüm” —三浦哲郎「赤い衣装」ドイツ語版表紙—	2010	青墨、岩絵具、顔料・雲肌麻紙	22.8	×	16.5	
町田久美	オモチャ	2011	グワッシュ、デジタルプリント・紙	29.4	×	39.0	
町田久美	a year	2012	岩絵具、リキテックス、鉛筆・カンヴァス	10.0	×	10.0	
町田久美	鞭	2012	鉛筆、色鉛筆、オイルパステル・紙	30.0	×	21.0	
町田久美	前夜	2013	エッチング、リトグラフ、金箔、手彩色・紙	22.7	×	19.2	
町田久美	前夜	2014	エッティング、リトグラフ、金箔、手彩色・紙	22.7	×	19.4	
三宅砂織	ベッドルーム 2	2008	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	70.0	×	70.0	
山口長男	人（III）	1980	リトグラフ・紙	58.0	×	43.0	
山田純嗣	10-11 FLOWERS	2010	ポリコートパネル、印刷紙、樹脂、パールペイント、インクアロ・オン・フォト	65.0	×	65.0	
横尾忠則	予兆の刻 III	1989	シルクスクリーン・紙	112.0	×	70.0	
岸浪百草居	画巻（魚など）	未詳	紙本著色・巻子	24.0	×	625.9	
津田青楓	山高水長画巻	1937	紙本著色・巻子	30.2	×	538.2	
森田恒友	漁村図	未詳	紙本墨画・軸	94.5	×	90.0	
太田三郎	200 Year After SHARAKU, from 1 June 1994 to 28 February 1995	1996	切手にコピー、20 シート	各 35.2	×	24.5	
清水柾博	image of Mr.S-A	1996	陶	103.0	×	45.0	×
清水柾博	image of Mr.S-B	1996	陶	38.0	×	109.0	×
深井隆	記憶—写楽	1996	木、紙、顔料	220.0	×	43.0	×
藤本由紀夫	SHARAKU BOX(Mizuemon)	1996	木、オルゴールユニット	40.0	×	26.0	×
藤本由紀夫	SHARAKU BOX(Mikinoshin)	1996	木、オルゴールユニット	40.0	×	26.0	×
藤本由紀夫	SHARAKU BOX(Mizuemon)	1996	木、オルゴールユニット	40.0	×	26.0	×

#### 4. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名（＊寄託作品）	貸出先	展覧会名	会場・会期
J.-J. グランヴィル	『生きている花々』より SOMPO 美術館 《ヒマワリ》	SOMPO 美術館	ゴッホと静物画—伝統から革新へ	SOMPO 美術館 10.17-2024.1.21

## 5. 保存・修復

作者名	作品名 (* 寄託作品)	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フランガン	鐘の上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング

ガヴァルニ 恐るべき子どもたち リトグラフ・紙 版画 解装・洗浄

## B. 図書資料その他

令和5年度収蔵図書

	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	94	76	15	0	0	0	185
寄贈	77	65	513	75	83	2	815
分類計	171	141	528	75	83	2	1000

# 施設利用状況

## A. 施設利用一覧

使用日	利用者	施設名
6.23	館林土木事務所	講堂及び研修室
6.24	館林土木事務所	講堂
11.22	館林保健福祉事務所	講堂
11.28	館林税務署管内青色申告会連合会	研修室
2.21	館林市経済部商工課	講堂

# 職員名簿

(令和 6 年 1 月 30 日現在)

群馬県立館林美術館作品収集委員

氏名	職名
水沢 勉	神奈川県立近代美術館 館長
杉村浩哉	栃木市立美術館 館長
田中 淳	大川美術館 館長

(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

特別館長	佐々木正直
館長	堀 和行
次長（教育普及係長）	斎藤克博

＜教育普及係＞

主幹（事）	柴崎恵利
主幹（学芸員）	熊谷ゆう子
主幹（事）	鏑田崇人
主任（事）	坂爪志郎
教育普及員	斎藤久美子 羽鳥あゆみ 竹渕典子 斎藤菜都美 最上雅世

＜学芸係＞

補佐（学芸係長）	定松晶子
主幹（学芸員）	松下和美
副主幹（学芸員）	野澤広紀
主任（学芸員）	伊藤香織
資料整理員	伊羅子典代